

ABId (ASUKABOOK® InDesign® Tool)

バージョン 1.3.4.x マニュアル

ABId とは

初版 2011年01月28日
第9m版 2018年05月30日



アスカネットの写真集をご利用頂き、誠にありがとうございます。

ABId (ASUKABOOK® InDesign Toolの略称です)はAdobe InDesign®を使ってASUKABOOK®のレイアウトを行う方に、独自にホワイトベースを作成し、ASUKABOOK®注文用のJPEGファイルを書き出す機能をご提供するソフトウェアです。この「ABId」をご利用いただくことにより、写真集制作の作業時間を大幅に短縮することができます。

なお、弊社ホームページにはASUKABOOK®の種類、編集上のご注意、モニタ調整と色評価、などの情報が掲載されています。

ぜひ一度ご覧ください。  <https://asukabook.jp/>

◆このマニュアルについて

- 本書は、ASUKABOOK® InDesign Tool において機能、および操作の解説をするものです。
- ABIdについて、調べたい項目を「もくじ」から探し出してください。
本書をAdobe Reader®などのPDFファイル閲覧ソフトでご覧頂く場合は、もくじページの項目番号、題目、ページ数の部分にマウスポインタを置くと  マークに変わります。クリックすると該当するページに直接ジャンプしますのでご利用ください。
- 本書は、Adobe Reader®などのPDFファイル閲覧ソフトでご覧の場合は、「○ページをご覧ください。」と書かれた文章をクリックすると、該当ページ、および該当するホームページにジャンプできます。
 マークが目印です。
- 本書での説明において、実際の運用との間に相違点がある場合は、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載のない操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。

1. 本製品 (ASUKABOOK® InDesign Tool) の一部、または全部を無断で複製することを禁止します。
2. 本製品 (ASUKABOOK® InDesign Tool) の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
3. 本製品 (ASUKABOOK® InDesign Tool) は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
4. 運用した結果については、3.項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
5. ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があつたとしても、弊社はその責任を負わないものとします。
6. 本ソフトウェア (ASUKABOOK® InDesign Tool) の解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
7. アスカネット、ASUKABOOK®, ASUKABOOK® InDesign Tool、およびそのロゴは、株式会社アスカネットの登録商標です。
8. Adobe InDesign®, Adobe Reader® は、アドビシステムズ株式会社の登録商標です。
9. Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。MacOS は Apple Inc. の登録商標です。

免責事項

本書に記載されている内容は、あくまで参照用として示すものです。また、記載内容は予告なく変更される場合があります。従って当該情報が株式会社アスカネットの責務として解釈されるわけではないことをご了承ください。株式会社アスカネットは、本マニュアルにおけるいかなる誤謬、また不正確な記述に対してもなんら責任、補償を負うものではありません。

目次

| | |
|--|-------|
| ABId とは | 表紙1 |
| ◆このマニュアルについて | 表紙1 |
| 免責事項 | 表紙1 |
| 目次 | もくじ-1 |
| 1. ABIdの概要 | 1-1 |
| 1-1. ABIdの特長 | 1-1 |
| 1-2. JPEG入稿への変更について | 1-1 |
| 1-3. 必要なアプリケーションと動作環境 | 1-1 |
| 【解説】 ^{ファイル チェッカー} File Checker について | 1-2 |
| 1-4. ABIdの基本的な動作について | 1-2 |
| 2. ABIdのご利用にあたっての注意事項 | 2-1 |
| 2-1. カラーマネジメントとご利用になる画像について | 2-1 |
| ① RGBモードで使用する | 2-1 |
| ② ホワイトベースには使用する写真素材と同じプロファイルを設定する | 2-1 |
| ③ CMYK画像は使用しない | 2-1 |
| ④ グレースケール画像は利用しない | 2-1 |
| ⑤ EPS形式の画像ファイルは使用しない | 2-1 |
| ⑥ 色指定は「RGBモード」で行う | 2-1 |
| 2-2. 小さな文字・細いライン についてのご注意 | 2-2 |
| 2-3. その他 | 2-2 |
| 2-3-1. Windows 7以降でご利用の場合は管理者権限で実行 | 2-2 |
| 2-3-2. 「オートレイアウト」、「テンプレート」機能の廃止 | 2-3 |
| 2-3-3. ドキュメントの設定 | 2-3 |
| 2-3-4. オブジェクトのリンクについて | 2-3 |
| 3. ABIdのインストール | 3-1 |
| 3-1. ダウンロードしたファイルの解凍 | 3-1 |
| 3-2. インストール | 3-2 |
| 3-3. アンインストール | 3-6 |
| 4. ABIdの起動方法 | 4-1 |
| 4-1. インストール直後のABIdの起動について | 4-1 |
| 【解説】 ABId情報のアップデート | 4-1 |
| 4-2. ABIdの終了について | 4-2 |
| 4-3. ABIdの起動について | 4-2 |

| | |
|--|-----|
| 5. ホワイトベースの生成 | 5-1 |
| 5-1. ホワイトベースの作成手順 | 5-1 |
| 【解説】 カラープロファイルについて | 5-2 |
| ① 素材には必ずカラープロファイルを埋め込む | 5-2 |
| ② ホワイトベースのカラープロファイルについて | 5-2 |
| ③ CMYK 画像は使用しない | 5-2 |
| ファイルを開く際の注意点 | 5-4 |
| 5-2. 新規ホワイトベースの登録機能 | 5-5 |
| 5-2-1. ホワイトベースの登録 | 5-5 |
| 5-2-2. 登録したホワイトベースの読み込み | 5-5 |
| 6. ASUKABOOK 編集上のコツ | 6-1 |
| 6-1. Adobe InDesign のファイルの特長 | 6-1 |
| ① ドキュメントファイル | 6-1 |
| ② ブックファイル | 6-1 |
| 6-2. Adobe InDesign®専用ホワイトベースの解説 | 6-1 |
| 6-3. Adobe InDesign のファイルの扱い方 | 6-3 |
| 6-3-1. ドキュメントファイルの開き方 | 6-3 |
| 6-3-2. ファイルの閉じ方 | 6-4 |
| ① ドキュメントファイルの閉じ方 | 6-4 |
| ② ブックファイルの閉じ方 | 6-4 |
| 6-3-3. ブックファイルの修復方法 | 6-4 |
| 7. 注文用JPEGファイルの作成方法 | 7-1 |
| 手順-1 ブックファイルを開く | 7-1 |
| 手順-2 Adobe Bridge®を起動する | 7-1 |
| 手順-3 「書き出し」をクリック | 7-1 |
| 手順-4 JPEG書き出しフォルダを選択 | 7-2 |
| 手順-5 注文用JPEGファイルの書き出し | 7-3 |
| 手順-6 書き出されたJPEGフォルダが開きます | 7-3 |
| ここで作成されたJPEGファイルをマイページから入稿します。 | 7-3 |
| 8. ご注文について | 8-1 |
| 8-1. ご注文までの流れ | 8-1 |
| 8-2. ご注文後の流れ・キャンセル・増刷について | 8-1 |
| 9. ブック変換 | 9-1 |
| 9-1. ブック変換のルール | 9-1 |
| 9-1-1. 事前の準備 | 9-1 |
| ① 変換先のホワイトベースの用意 | 9-1 |

| | |
|---|-------------|
| ② 変換元のブックファイルセットの確認 | 9-1 |
| 9-1-2. 注意事項 | 9-1 |
| ① ブック変換処理の方法 | 9-1 |
| ② 本文ページと表紙・ケースは個別に変換を | 9-1 |
| ③ ブック変換の制限事項 | 9-2 |
| ④ 変換後にはレイアウト確認を | 9-2 |
| ⑤ カラープロファイルについて | 9-2 |
| ⑥ ブック変換時におけるマスタースプレッドの扱いについて | 9-2 |
| ⑦ ページ数の増減 | 9-3 |
| ⑧ ブック変換後の画像のリンク先について | 9-3 |
| ⑨ ブック変換ができない組み合わせ | 9-3 |
| ⑩ ブック変換の例外 | 9-3 |
| 9-2. ブック変換の例 その1 / 以前に作成したブックを元にして、他のブックを作る | 9-4 |
| 9-2-1. 変換先のホワイトベースを用意する | 9-4 |
| 9-2-2. 変換作業(本文の変換) | 9-6 |
| 9-2-3. 変換作業(表紙の変換) | 9-8 |
| 9-3. ブック変換の例 その2 / ページ数を変更する | 9-11 |
| 9-3-1. ページ数変更の手順 | 9-11 |
| 9-3-2. ブック変換 / ページ数を増やす場合 | 9-13 |
| 9-3-3. ブック変換 / ページ数を減らす場合 | 9-13 |
| 10. ツール | 10-1 |
| 10-1. ブック情報の確認 | 10-1 |
| 10-2. 新規ホワイトベースの解説を省略する方法 | 10-3 |
| 10-3. InDesign 起動時に「ABId」を起動させない方法 | 10-3 |
| 10-4. 「ABId」の動作がおかしい場合 | 10-4 |
| 10-5. ログ | 10-4 |
| 10-6. ブック変換時のオプション機能 | 10-6 |
| 10-6-1. [ブック変換] マスタースプレッドをコピーする | 10-6 |
| 【解説】 マスタースプレッドのコピーについて | 10-6 |
| マスタースプレッドの使い方例 | 10-7 |
| 10-6-2. マスター・スプレッドに画像を登録している場合の注意事項 | 10-8 |
| チェックを外さずにブック変換を行った場合の不具合例 | 10-8 |
| 10-6-3. ブック変換のやり直し手順 | 10-10 |
| 11. 編集上のご注意 | 11-1 |
| 11-1. 塗り足しと裁ち落としについて | 11-1 |
| 11-2. ブック変換時の塗り足し領域について | 11-1 |
| 11-3. 表紙のサイズ縮小時の注意事項 | 11-3 |

| | |
|----------------------|---------------|
| 11-4. 最新情報はホームページで確認 | 11-4 |
| 12. お問い合わせ | 12-1 |
| 索引 | 索引 1-1 |

1. ABIdの概要

1-1. ABIdの特長

ABId (ASUKABOOK® InDesign Toolの略称)はAdobe InDesign®を使ってASUKABOOK®のレイアウトを行う方に、便利な機能をご提供するソフトウェアです。

- ① Adobe InDesign®を用いてASUKABOOK®ホワイトベースを生成できます。
バージョン1.3.4.24からは、2018年5月に発表したASUKABOOK®「ボードPetit」、「プラチナクロス七五三」、「Photolet」、「pasta」、「Leafブック」、「Leafカード」に対応しています。
また、「ZENレイフラットART ACX」、「ボードACX」は、サイズの追加に対応しました。
- ② Adobe InDesign®からASUKABOOK®入稿用JPEGファイルの書き出しが行えます。
- ③ 以前にAdobe InDesign®で作成したASUKABOOK®を利用して、商品、サイズ、ページ数の変更を行うことで、新しいASUKABOOK®に作り替えることができます。(過去の資産利用)
- ④「ABId」は、Adobeスクリプトを用いて作成されています。このため、Adobe InDesign®の操作性に影響を及ぼさずに付加機能を動作させることができます。(Adobeスクリプトとは、Adobe社のアプリケーションが持っている様々な機能や動作を指令するための簡易プログラミング言語のことです)
- ⑤ Windows、macOSのどちらのOSでも動作します。
*「ABId」にはレイアウトを補助する機能はありません。レイアウトはAdobe InDesign®の優れた編集機能をそのままご利用ください。

1-2. JPEG入稿への変更について

今までは、ABIdで作成されたデータは、PDF及びJPEG入稿に対応しておりましたが、バージョン(1.3.4.14)より、JPEG入稿のみの対応に変更させていただきました。

ABId旧バージョンの場合は、PDFでの入稿も可能ですが、2016年以降の新製品には対応しておりませんのでご了承ください。

※今後の新製品は、「File Checker」に対応する予定はありませんので、JPEG入稿をお奨めいたします。



PDF入稿の場合は、1-2 ページの「1-4. ABIdの基本的な動作について」をご参照ください。

1-3. 必要なアプリケーションと動作環境

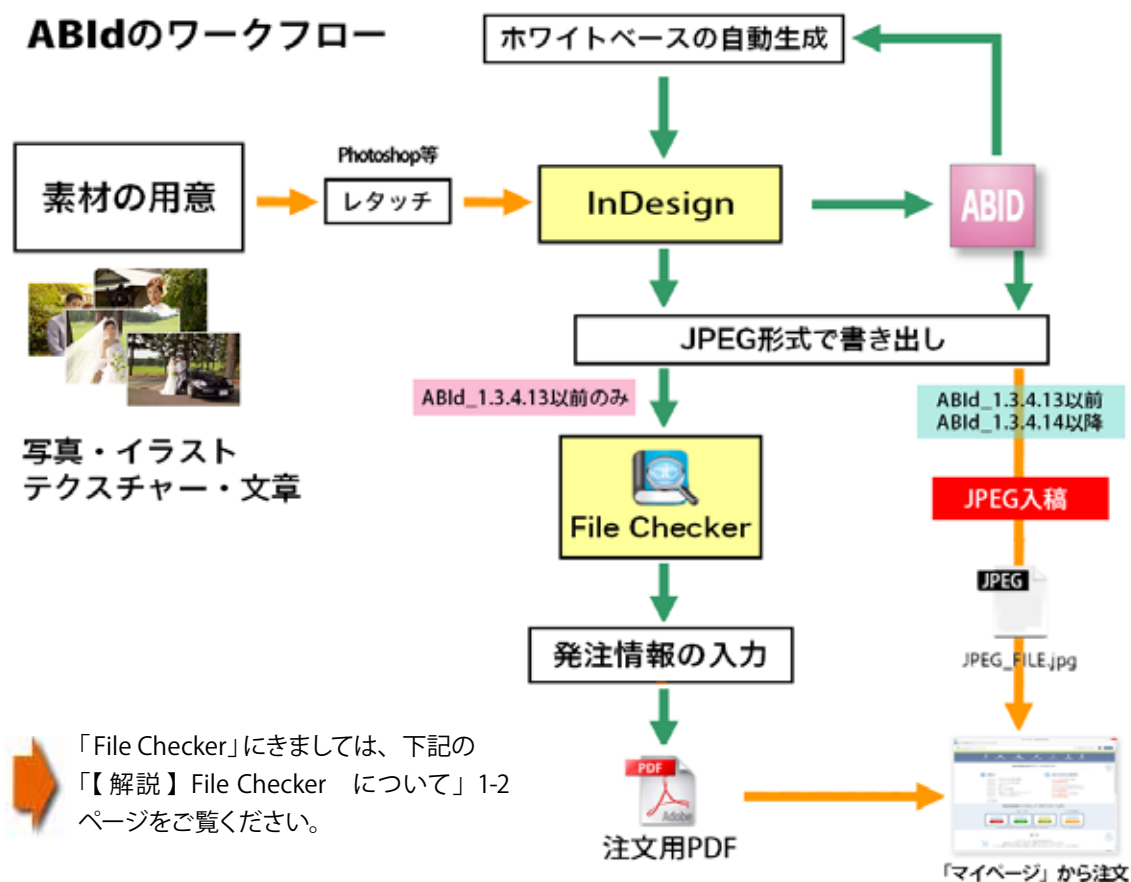
Adobe InDesign®を使ってASUKABOOK®注文用のJPEGファイルを制作するためには、下記のアプリケーションが対応し動作している環境が必要です。

| | | |
|-------------------------|----------|-----------------------|
| Adobe InDesign® CC 2014 | をご利用の場合は | Adobe Bridge® CC |
| Adobe InDesign® CC 2015 | をご利用の場合は | Adobe Bridge® CC |
| Adobe InDesign® CC 2017 | をご利用の場合は | Adobe Bridge® CC 2017 |
| Adobe InDesign® CC 2018 | をご利用の場合は | Adobe Bridge® CC2018 |

- ①「ABId」は、Adobeスクリプトを使っているため、Windows、macOSのどちらのOSでも動作します。
- ② 上記のAdobe社の各アプリケーションのバージョンは、原則的にそれぞれ同じバージョンのものをインストールしてください。
- ③ Adobe InDesign® CC 2014、CC 2015、CC 2017、CC 2018をご利用の場合は、それぞれに対応したAdobe Bridge®を別途にインストールしてください。Adobe Bridge®がインストールされていない場合は「書き出し」機能が動作しません。

1-4. ABIdの基本的な動作について

Adobe InDesign® のメニューに備えられている「書き出し」から出力されるJPEGファイルを出力し入稿します。ABId旧バージョンの場合は、PDFでの入稿も可能(2016年以降の新製品に対応していません)ですが、ASUKABOOK®発注用の情報を含むことができません。そのためAdobe InDesign®にて作成したデータから、弊社でご提供する「File Checker」を通すことでASUKABOOK®注文用PDFを作成します。



FileCheckerを利用して従来通りPDF入稿を行う場合は、ABId1.3.4.13以前をご利用ください。ただし、2016年6月以降にリリースされた新商品には、対応していませんのでご了承ください。

FileChecker対応商品はこちら：<https://asukabook.jp/edit/technique.html>



【解説】File Checker について

「File Checker」とは、ホワイトベースを検査し、ASUKABOOK®注文用のPDFデータを生成するソフトウェアです。尚、「File Checker」は開発を終了しておりますので、今後はJPEG入稿をお奨めいたします。

- ① 点検内容 ブックの種類、サイズ、ページ数、背表紙の厚み、解像度、埋込プロファイルです。
(レイアウトデザインまでは検査できませんのでご了承ください)
- ② ASUKABOOK®用の注文書を埋め込みます。
- ③ 「File Checker」は最新のものをご使用ください。
新商品に対応していないバージョンをお使いの場合はエラーとなりますので、ご注意ください。
- ④ 「File Checker」のダウンロード先は https://asukabook.jp/support_tool/download.html です。
※ 2016年以降の新商品には対応していませんのでご了承ください。2016年以降の商品は、最新のABIdを利用してJPEG入稿をご利用ください。FileChecker対応商品はこちら：<https://asukabook.jp/edit/technique.html>

2. ABIdのご利用にあたっての注意事項

2-1. カラーマネージメントとご利用になる画像について

① RGBモードで使用する

ASUKABOOK®では「RGB入稿方式」を採用しています。このため、「ABId」でもドキュメントであるホワイトベースを「RGBモード」で生成しています。また、カラープロファイルは、「sRGB」および「AdobeRGB」を選択できます。このためご利用になる画像やイラストも原則として全て「RGBモード」のものをご利用ください。

② ホワイトベースには使用する写真素材と同じプロファイルを設定する

Adobe InDesign®では「AdobeRGB」画像と「sRGB」画像を混在して利用することが出来ますが、この場合には自動的にホワイトベースのカラースペースに変換されてPDFに書き出されます。

例えば、ホワイトベースを「AdobeRGB」で生成した場合、「sRGB」画像は自動的に「AdobeRGB」に変換されます。Adobe社のカラーマネージメントエンジンは非常に優れたものですが、不要な変換を行うことにより画像のコントラストや色合いが多少変化する場合があります。できるだけ、使用する写真素材と同じカラープロファイルをホワイトベースに設定する方が親和性が良いといえます。

ご注意

「ABId」バージョン1.1.0までは、ドキュメント(ホワイトベース)のカラープロファイルを「AdobeRGB」のみに設定していました。しかしバージョン1.3から、写真素材との親和性や他のドキュメントとの互換性を考慮し、「sRGB」と「AdobeRGB」のどちらかを選択できるように変更しました。ただし、「ABId」のブック変換機能では制作したドキュメントのカラープロファイルを変更することはできませんのでご了承ください。

③ CMYK画像は使用しない

Adobe InDesign®ではCMYK画像とRGB画像とを混在して利用することが出来ますが、ホワイトベースを「RGBモード」で生成している関係から、CMYK画像の利用は色の狂いを生ずる場合があります。また、モニタでの見え方と、印刷物との色が異なる場合がありますので、使用しないでください。

もし、CMYK画像しか入手できない場合は、予めAdobe Photoshop®を用いてRGBモードに変換してからご利用ください。

④ グレースケール画像は利用しない

単チャンネルのグレースケール画像については、グレースケールプロファイルの関係から画像のコントラストが印刷に正確に反映されない場合があります。予めAdobe Photoshop®を用いてRGBモードに変換してからご利用ください。

⑤ EPS形式の画像ファイルは使用しない

ABIdはInDesignから書き出されるJPEGファイルを用いてアスカネット注文用PDFを作成します。EPS形式の画像を使用した場合、このJPEGファイルにジャギーや色の狂いが発生します。画像ファイル形式は JPEG、Tiff、PSD形式をご利用ください。

⑥ 色指定は「RGBモード」で行う

Adobe InDesign®においての図形、線、テキストなどの色指定は「RGBモード」で行ってください。ASUKABOOK®では「RGB入稿方式」を採用していますので、RGB値による指定の方が色再現性が良いと言えます。

ご注意

「CMYKモード」で色指定を行った場合でも、PDFへの書き出しは「RGBモード」に変換されるため、「K=100%」の指定と「レジストレーションカラー」(C=100%,M=100%,Y=100%,K=100%)の指定は同じ濃度になりますので、ご了承ください。また、「K=100%」の指定を行っても、実際の印刷ではCMYKの4色印刷(正確には6色印刷)となります。

2-2. 小さな文字・細いライン についてのご注意

「ABId」は、Adobe InDesign®上の全てのオブジェクト(画像、フォント、ラインなど)をラスターライズしてPDFファイルに出力します。このため、小さな文字や、細い線などが不鮮明になる場合があります。このことを踏まえた上でのデザインを行って頂くようお願いいたします。

また、書き出されたPDFは、必ずAcrobat Reader®で開いて(Acrobat Pro®はデータが書き換わる可能性がありますので使用しないでください)確認するようお願いいたします。詳細部分を確認する際は、表示拡大率を100%以上にして確認してください。なお、ラスターライズ後の解像度は271dpi(ASUKABOOK®標準解像度)です。

アドバイス!

通常の印刷ではPostScript言語による形態のファイルにまとめることで、フォントや線分などのアウトラインに関する問題を処理しています。しかしアスカネットでは、PostScriptにまつわる入稿時のトラブルを回避し、出来るだけ簡単な方法で印刷レベルのデータを作成して頂くため、ラスターライズデータによる入稿を行っています。

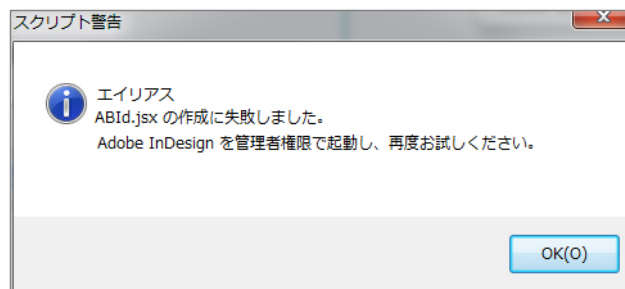
この方法は、元画像の品質を保てる反面、小さいフォントや細い線分などが不鮮明になりやすい特徴があります。

2-3. その他

2-3-1. Windows 7以降でご利用の場合は管理者権限で実行

Windows 7以降のOSをご利用の場合、Adobe InDesign®の起動時に、右図のような警告が表示される場合があります。これはWindowsのセキュリティが強化されたために発生するものです。

このような場合は、Adobe InDesign®を管理者権限で起動してください。



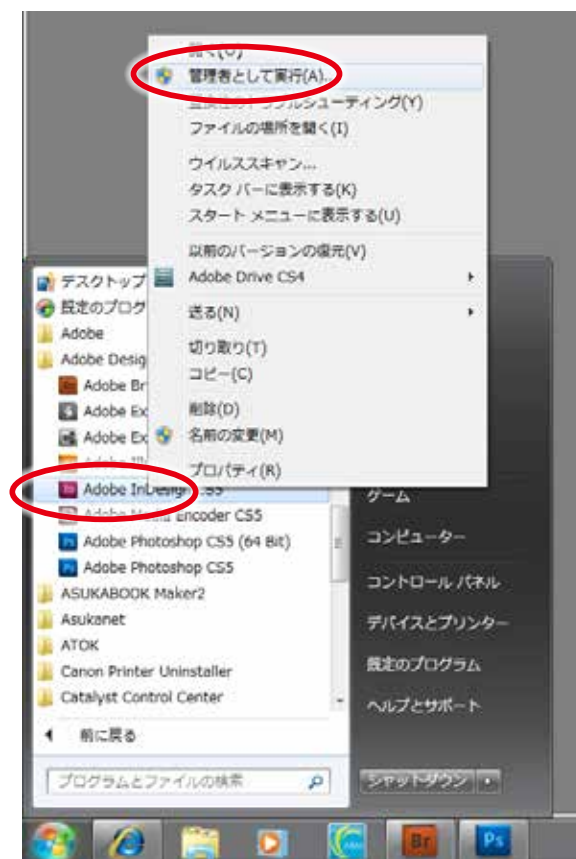
管理者権限による起動方法

手順1 「Adobe InDesign」を機動

「スタート」から「Adobe InDesign」を右クリックしてください。
※左クリックすると通常起動してしまいますので、必ず「右クリック」してください。

手順2 「管理者権限として実行」をクリック

サブメニューが表示されますので、「管理者権限として実行」をクリックしてください。



2-3-2. 「オートレイアウト」、「テンプレート」機能の廃止

バージョン1.2までに付属していた「オートレイアウト」機能、および「テンプレート」機能は、バージョン1.3から廃止しました。Adobe InDesignは、もともと写真、イラスト、文字などを自由にレイアウトすることを目的としたDTPアプリケーションソフトウェアです。また、一旦レイアウトされたドキュメントファイルは、写真や文字を入れ替えれば素早く他の作品に作り替えることができる、つまりテンプレート機能を備えていると言えます。

2-3-3. ドキュメントの設定

「ABId」にて生成されるホワイトベースは、Adobe InDesign®のドキュメント設定を 「綴じ方=左綴じ」、「裁ち落とし= 3mm」としてしています。

2-3-4. オブジェクトのリンクについて

Adobe InDesign®ドキュメントに貼付する画像や図形などのオブジェクトは、埋め込まなくてもリンクされていれば問題ありません。

3. ABIdのインストール

「ABId」は、「ASUKABOOK.jp」のホームページの「サポートツール」の「ダウンロード」からダウンロードしてください。

ダウンロード：https://asukabook.jp/support_tool/download.html

この章では「ABId」のダウンロードが完了しているものとして、インストールの解説を進めます。

3-1. ダウンロードしたファイルの解凍

ダウンロードした「ABId.zip」は圧縮されていますので、解凍してください。

◆ダウンロードしたファイルの解凍

- ①ダウンロードされたファイルは「Zip」(ジップ)という圧縮されたファイルになっていますので、そのままでは機能しません。必ず解凍してからお使い下さい。解凍すると「ABId」というフォルダが出てきます。
- ②macOSには「zip」の解凍ソフトが標準装備されていますので、ダブルクリックすると自己解凍します。
- ③Windows 7以降の場合も OSの標準機能として Zipファイル を解凍することが出来ます。

- 解凍後の「ABId」フォルダは「デスクトップ」に置くことをお勧めいたします。

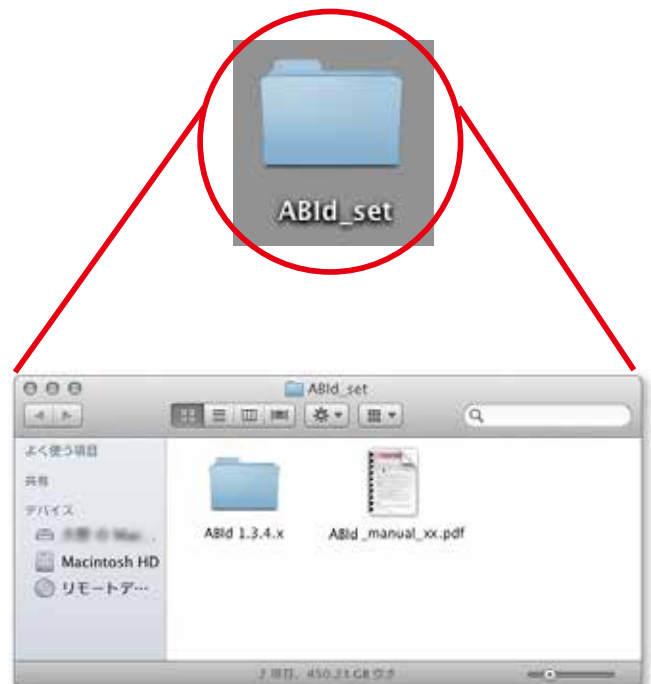


解凍すると「ABId」フォルダが現れます。

中には1つのファイルと、1つのフォルダが入っていることを確認してください。

- ① ABId フォルダ
「ABId」のプログラムが格納されているフォルダです。数字はバージョンを示します。
- ② ABId_manual_9x.pdf
「ABId」の取扱説明書(本書)です。

- 「ABId」は、macOS、Windows 共用です。どちらのOSでも動作します。



h

3-2. インストール

「ABId」のインストール手順は、macOSでも、Windowsでも同様です。

古いバージョンの「ABId」をお使いの場合は、新しいバージョンの「ABId」をインストールする前に古いバージョンのものをアンインストールしてください。



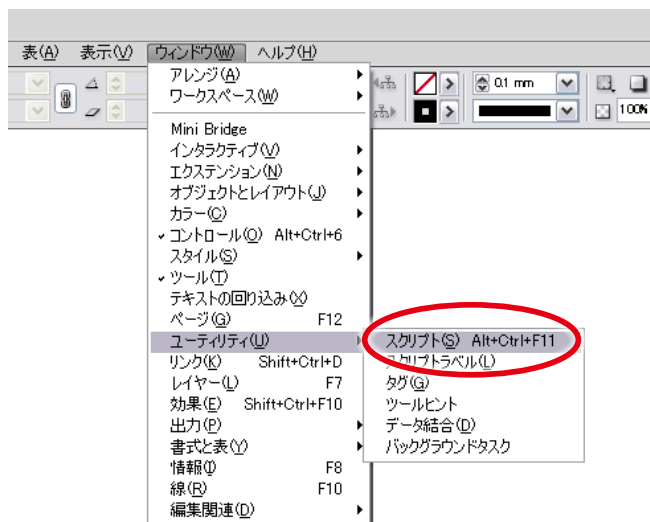
アンインストールの方法については、「3-3. アンインストール」3-6ページをご覧ください。

手順1 Adobe InDesign® を起動する

Adobe InDesign®を起動してください。

手順2 スクリプトパネルの表示

Adobe InDesign®のメニューから「ウィンドウ/ユーティリティ/スクリプト」をクリックし、スクリプトパネルを表示させます。

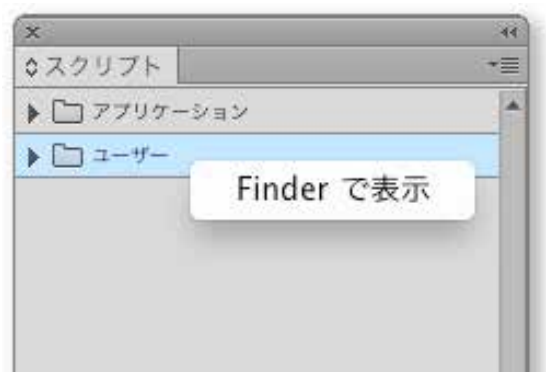


Adobe InDesign® メニューの
ウィンドウ/ユーティリティ/スクリプト



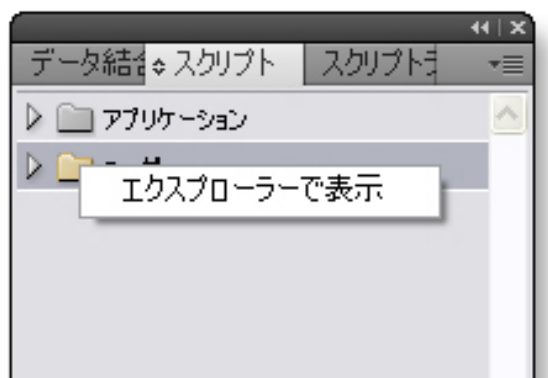
手順3 「Scripts」フォルダを開く

スクリプトパネルのユーザーフォルダ部分を右クリックして、「Scripts」フォルダを開きます。



MacOSの場合

ユーザーフォルダを右クリックし、「Finderで表示」をクリックする。



Windowsの場合

ユーザーフォルダを右クリックし、「エクスプローラーで表示」をクリックする。

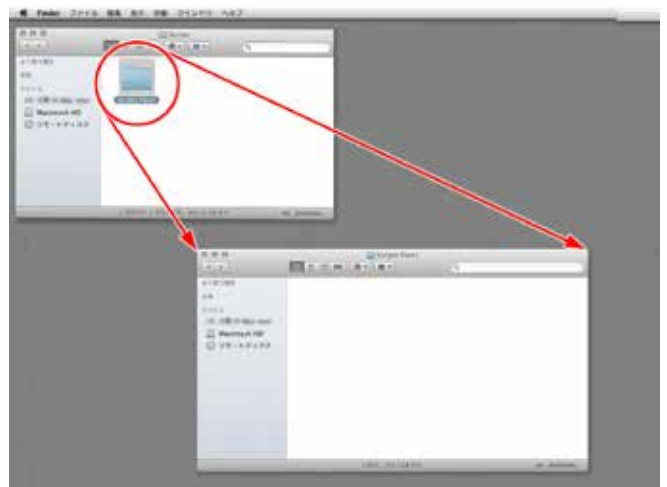


右図のように「Scripts」フォルダが開きます。



手順4 「Scripts Panel」フォルダを開く

さらに「Scripts」フォルダをダブルクリックして「Scripts Panel」を表示させます。



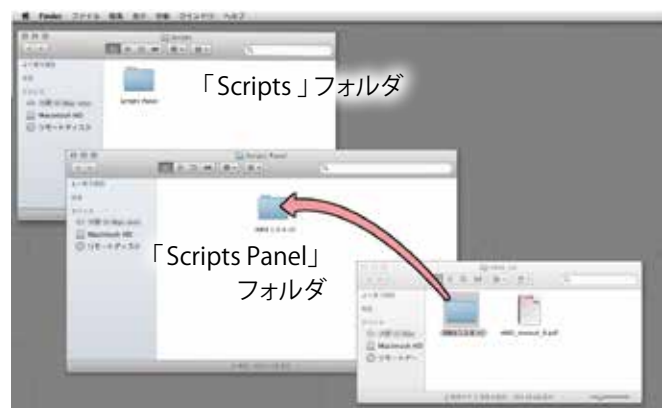
「Scripts」フォルダーをダブルクリックして「Scripts Panel」フォルダを開く。



手順5 「ABId」フォルダをコピーする

「Scripts Panel」フォルダの中に、3-1.で解凍した「ABId」のフォルダをそのままコピーして入れてください。

●この作業でABIdのインストールは終了です。



「Scripts Panel」フォルダの中に「ABId」フォルダをコピーする。

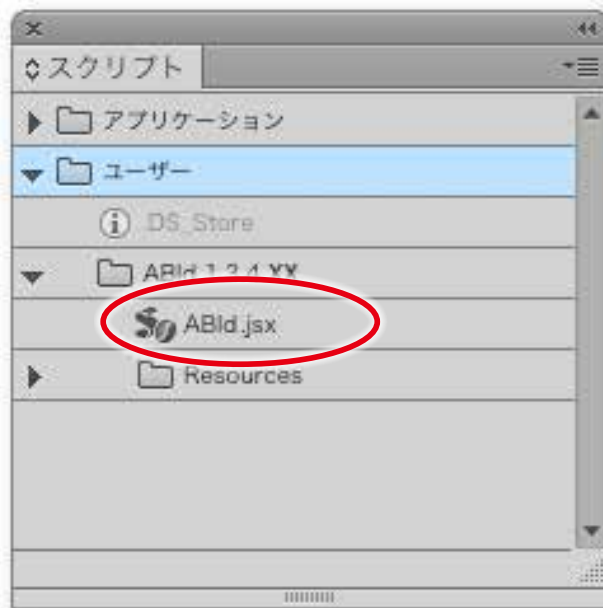


手順6 「ABId」を起動する

表示されているフォルダを全て閉じてから、Adobe InDesign®のスクリプトパネルに戻ってください。

右図のように「ユーザー」フォルダの中に「ABId.jsx」が入っていることを確認してください。

次にこの「ABId.jsx」をダブルクリックしてください。



「ABId」が起動すると利用規程(右図参照)が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

●このメッセージは「ABId」をご利用頂く上での注意事項と免責事項が書かれています。ご一読ください。

●「次回以降表示しない」にチェックを入れると、次回以降はこのメッセージを表示しないようになります。



ご注意

もしお使いのAdobe InDesign®がCC以前のバージョンの場合は、右図のメッセージが表示されます。

「ABId 1.3.4.20」からは、Adobe InDesign® CC2014、CC2015、CC2017、CC2018での動作を前提としているため、CC以前の動作は動作保証対象外とさせていただきます。

作業環境の詳細については「1-3. 必要なアプリケーションと動作環境」1-1 ページをご覧ください。



Adobe InDesign® CC2014、CC2015、CC2017、CC2018をご利用では無い場合は、このようなメッセージが表示されます。



次に「ABId」のメニューに関するメッセージが表示されますので（右図参照）、「閉じる」をクリックしてください。


- 「次回以降表示しない」にチェックを入れると、次回以降はこのメッセージを表示しないようになります。
- これで「ABId」のインストール、および起動が終了しました。

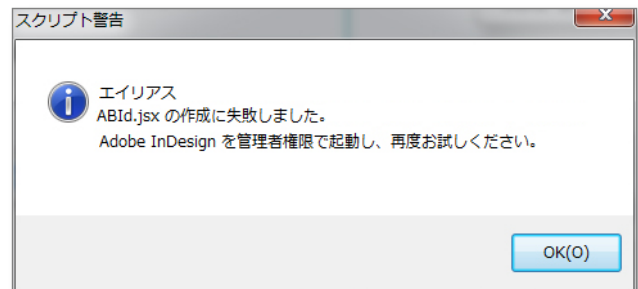


ご注意

WindowsにてAdobe InDesign®をご利用の場合、右図の警告が表示されることがあります。

これはWindowsのセキュリティが強化されたために発生するものです。このような場合は、Adobe InDesign®を管理者権限で起動してください。

-  Adobe InDesign®を管理者権限で起動する方法については、「2-3-1. Windows 7以降でご利用の場合は管理者権限で実行」2-2ページをご覧ください。



3-3. アンインストール

「ABId」のアンインストールの手順については、macOSでも、Windowsでも同様です。Adobe InDesign®の「Scripts Panel」フォルダを開き、「ABId」フォルダを取り除きます。

手順1 Adobe InDesign® を起動する

Adobe InDesign®を起動してください。

手順2 「ツール」をクリック

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックし、プルダウンメニューの「ツール」をクリックしてください。



手順3 「初期状態に戻す」をクリック

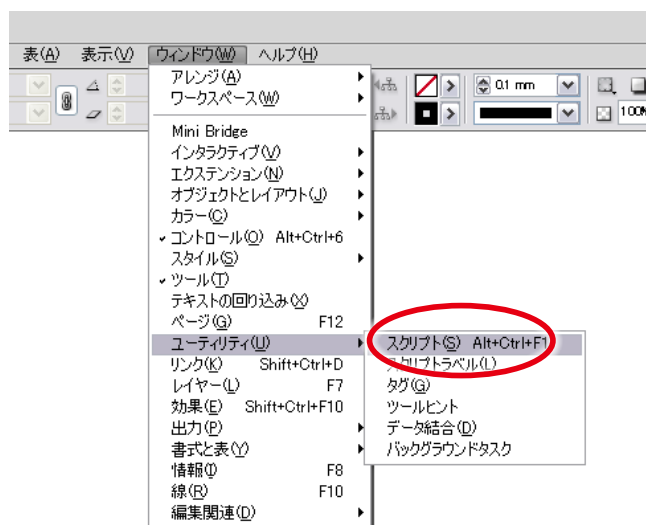
「ツール」のダイアログが表示されますので、「初期状態に戻す」ボタンをクリックしてください。

●この操作で「ABId」は終了し、Adobe InDesign®のメニューから「ABId」の項目が消去されます。



手順4 「Scripts」フォルダを開く

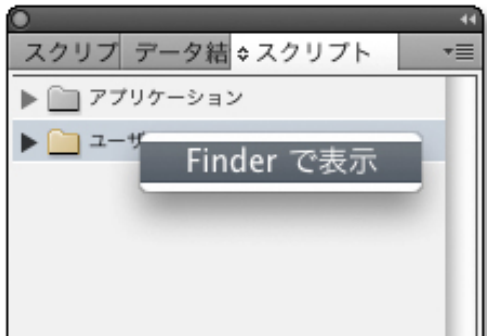
Adobe InDesign®のメニューから「ウィンドウ/ユーティリティ/スクリプト」をクリックして、スクリプトパネルを表示させます。



メニューの ウィンドウ/ユーティリティ/スクリプトをクリックして、スクリプト・パネルを表示させる。

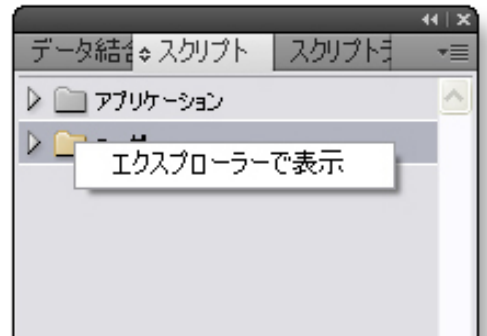


スクリプトパネルが開いたら、ユーザーフォルダ部分を右クリックして、「Scripts」フォルダを開きます。



MacOSの場合

ユーザーフォルダを右クリックし、「Finderで表示」をクリックする。



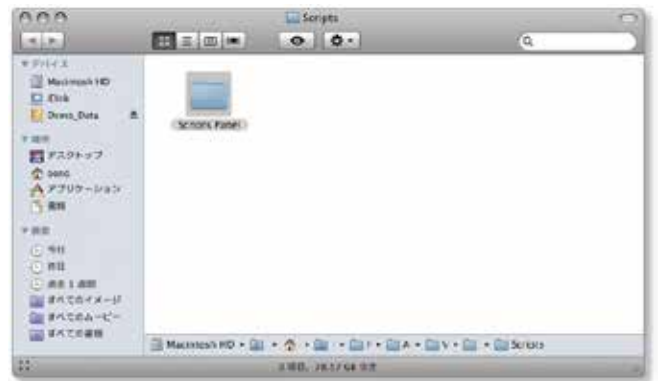
Windowsの場合

ユーザーフォルダを右クリックし、「エクスプローラで表示」をクリックする。

手順5 さらに「Scripts Panel」フォルダを開く

右図のように「Scripts」フォルダが開きます。

中には「Scripts Panel」フォルダが入っていますので、ダブルクリックして開いてください。

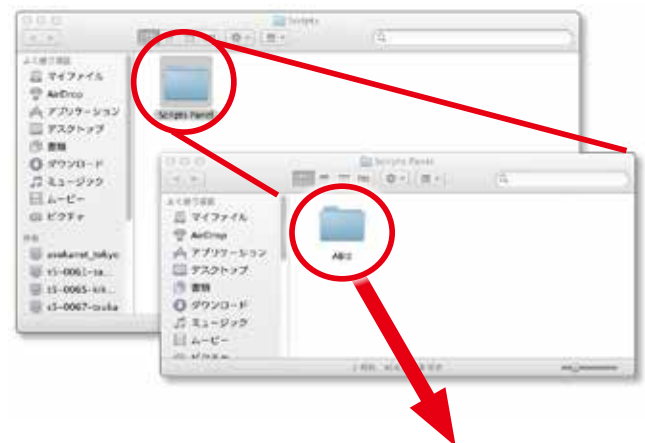


手順6 「ABId」を取り除く

「Scripts Panel」フォルダが開くと、中に「ABId」フォルダがインストールされています。

この「ABId」フォルダを「Scripts」フォルダの外に取り出すか、もしくは削除してください。

- 以上の操作により「ABId」は Adobe InDesign® からアンインストールされ、動作しなくなります。
開いているウインドウを全て閉じてください。



「Scripts Panel」フォルダにインストールされている「ABId」フォルダをマウスでドラッグしてフォルダの外に取り出す。

4. ABIdの起動方法

4-1. インストール直後のABIdの起動について

「ABId」は、インストールが正常に行われていれば、Adobe InDesign®を起動すると同時に起動します。

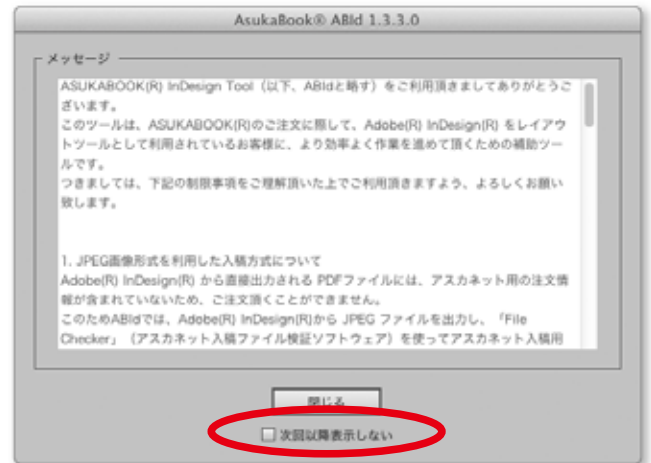
- ① Adobe InDesign®のメニューに「ABId」という項目が加えられていますので、ここをクリックしてください。プルダウンメニューが表示され、「ABId」の各機能をすぐに利用できます。
- このように「ABId」はAdobe InDesign®の起動と同時に起動します。



もし、同時に起動させたくない場合には、「10-3. InDesign 起動時に「ABId」を起動させない方法」10-3ページをご覧ください。

- ② もし、Adobe InDesign®の起動時に利用規程のメッセージ（右図参照）が表示される場合は「ABId」も正常に起動した証拠です。

もし、このメッセージを表示しないようにしたい場合は、「次回以降表示しない」にチェックを入れてください。



ご注意

もし、右図のメッセージが表示された場合は「Yes」をクリックして「ABId」の情報を更新してください。

解説 ABId 情報のアップデート

Adobe InDesign®には、バージョンによって対応するAdobe Bridge®との組み合わせがあります。

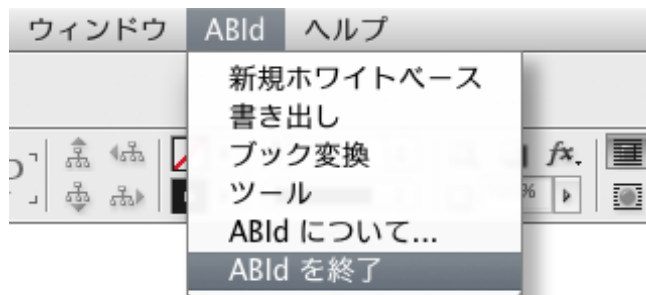
Adobe Creative Cloudになってからは各アプリケーションが頻繁に更新されるようになりました。このため「ABId」では起動時に弊社のサーバーからこの組み合わせ情報を取得するように改良いたしました。（ABId 1.3.4.4 よりの機能）

「ABId」の情報が更新されると右図のメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてメッセージを閉じてください。



4-2. ABIdの終了について

「ABId」を終了したい場合は、Adobe InDesign®のメニュー「ABId」からプルダウンメニューの「ABIdを終了」をクリックしてください。



Adobe InDesign®のメニューから「ABId」が消えます。



この状態から「ABId」を起動する場合は、「4-3. ABIdの起動について」4-2ページをご覧ください。

4-3. ABIdの起動について

「ABId」のプルダウンメニューから「ABId」を終了した場合、Adobe InDesign®のメニューから「ABId」が消えてしまいます。この状態から「ABId」を起動する方法をご説明します。

手順1 Adobe InDesign®の起動

Adobe InDesign®を起動してください。

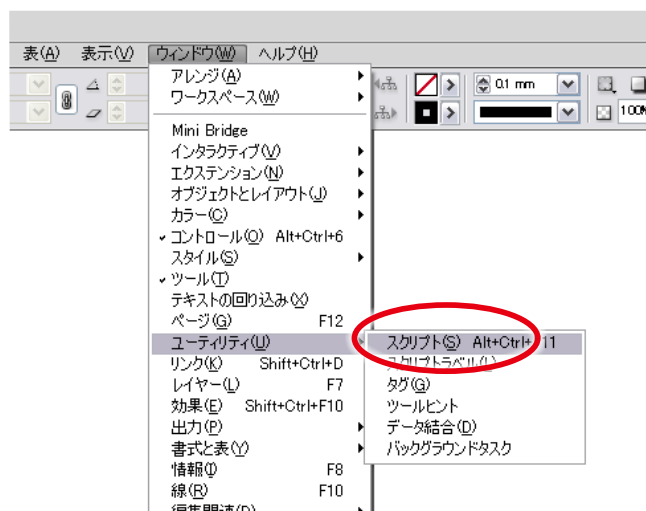
ご注意

Windows 7及びWindows 8でご利用の場合は、Adobe InDesign®を管理者権限として実行しないと「ABId」が動作しない場合があります。

Adobe InDesign®を管理者権限で起動する方法については、「2-3-1. Windows 7以降でご利用の場合は管理者権限で実行」2-2ページをご覧ください。

手順2 スクリプトパネルの表示

スクリプトパネルを表示させます。

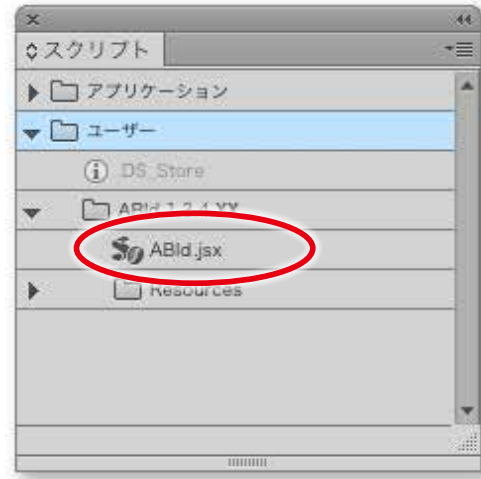


メニューの ウィンドウ/ユーティリティ/スクリプトをクリックして、スクリプト・パネルを表示させる。




手順3 「ABId.jsx」をダブルクリック

スクリプトパネルのユーザーフォルダの中から「ABId.jsx」をダブルクリックします。

**ご注意**

もし「ABId」の起動時に右図のメッセージが表示された場合は「はい」をクリックして「ABId」の情報を更新してください。

 「ABId情報」については【解説】ABId情報のアップデート」4-1ページをご覧ください。

**手順4 「閉じる」をクリック**

「ABId」が起動すると利用規程(右図参照)が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

- このメッセージは「ABId」をご利用頂く上での注意事項と免責事項が書かれています。ご一読ください。
- 「次回以降表示しない」にチェックを入れると、次回以降はこのメッセージを表示しないようになります。

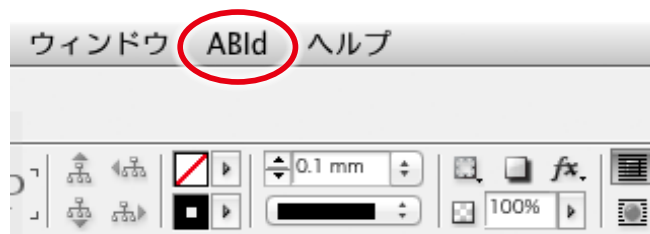


次に「ABId」のメニューに関するメッセージが表示されますので(右図参照)、「閉じる」をクリックしてください。

- 「次回以降表示しない」にチェックを入れると、次回以降はこのメッセージを表示しないようになります。



Adobe InDesign®のメニューに「ABId」が表示されるようになります。



5. ホワイトベースの生成

ASUKABOOK®を制作するに当たり、商品の指定、誌面の大きさや解像度を指定した白紙のブックファイルセットを用意する必要があります。アスカネットではこの白紙のブックファイルセットを「ホワイトベース」と呼んでいます。「ABId」はASUKABOOK®の商品名、サイズ、ページ数などを指示すればホワイトベースを自動生成する機能を持っています。

5-1. ホワイトベースの作成手順

手順1 「新規ホワイトベース」をクリック

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

プルダウンメニューの「新規ホワイトベース」をクリックしてください。

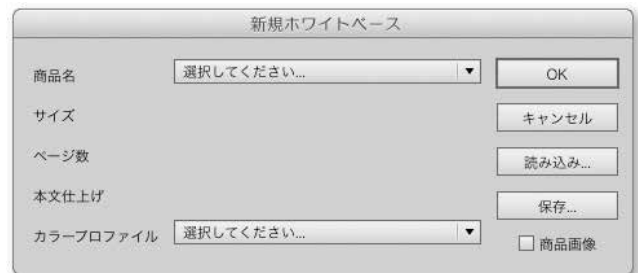


手順2 ブックの仕様を選択

「新規ホワイトベース」のダイアログが表示されますので、これから制作するブックの仕様を選択します。


商品名、サイズ、ページ数、本文仕上げ、プロファイルを順に選択してください。

- 「商品画像」にチェックを入れると下部に商品に応じた写真が表示されます。




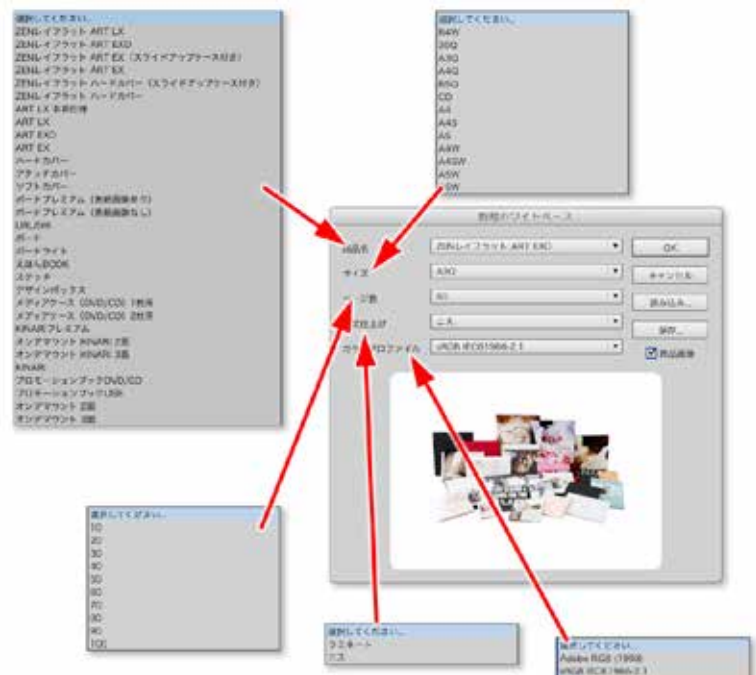
ブック仕様の設定について

- 「サイズ」、「ページ数」、「本文仕上げ」については、選択した「商品名」によって選択肢が変わります。
- 「商品名」「サイズ」、「ページ数」、「本文仕上げ」については、後から変更することができます。
- 「カラープロファイル」は、原則的には使用する画像と同じプロファイルを選択してください。

 カラープロファイルについては「【解説】 カラープロファイルについて」5-2ページをご覧ください。

- ASUKABOOK®の特長、種類については弊社ホームページASUKABOOK.jpの商品一覧

 https://asukabook.jp/products/products_list.htmlをご覧ください。



解説 カラープロファイルについて

① 素材には必ずカラープロファイルを埋め込む

写真素材として使用する画像ファイルには、必ずカラープロファイルを埋め込んでください。カラープロファイルは「sRGB」、もしくは「AdobeRGB」をご利用ください。

なお、プロファイルが埋め込まれていない画像ファイルについては、お客様がご利用のコンピュータの環境により、色調が本来の状態(例えば、撮影時の状態)より異なる場合がありますので、ご注意ください。

現在のmacOS、およびWindows上で扱われる画像については、カラープロファイルを埋め込んで流通させることが、色調を維持する上での基本となっています。よって、カラープロファイルが埋め込まれていない画像については、印刷においても色の保証ができませんのでご了承ください。

② ホワイトベースのカラープロファイルについて

「新規ホワイトベース」の生成においてカラープロファイルを選択する場合は、原則としてお使いのデジタルカメラに設定されているカラープロファイルと同じプロファイルを選んでください。

画像ファイルのカラープロファイルは画像入力機器の状態によって決まります。デジタルカメラでJPEG撮影の場合は、工場出荷状態では「sRGB」に設定されています。なお、デジタルカメラを操作して撮影プロファイルを変更してから撮影を行う場合は「AdobeRGB」を利用することができます。詳しくはお使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

| | |
|-----------------|---|
| JPEG撮影の場合 | デジタルカメラをお使いの場合、工場出荷状態ではJPEG撮影の画像は「sRGB」になります。なお、デジタルカメラを操作して撮影プロファイルを変更すれば「AdobeRGB」を利用することができます。 |
| RAW撮影の場合 | RAW撮影された画像については、撮影前ではなく、RAWデータ現像の時点で「sRGB」もしくは「AdobeRGB」を選択することが出来ます。 |
| フィルムスキャン の場合 | フィルムスキャナーのドライバーソフトの設定によります。機種によってはカラープロファイルを埋め込んでいないものもありますので、運用の際にはご注意ください。 |

③ CMYK画像は使用しない

ASUKABOOK®では「RGB入稿方式」を採用しています。このため、「ABId」でもホワイトベースを「RGBモード」で生成し、カラースペースを「sRGB」もしくは「AdobeRGB」を選択して頂くようにしています。このためご利用になる画像やイラストは原則として全て「RGBモード」のものをご利用ください。

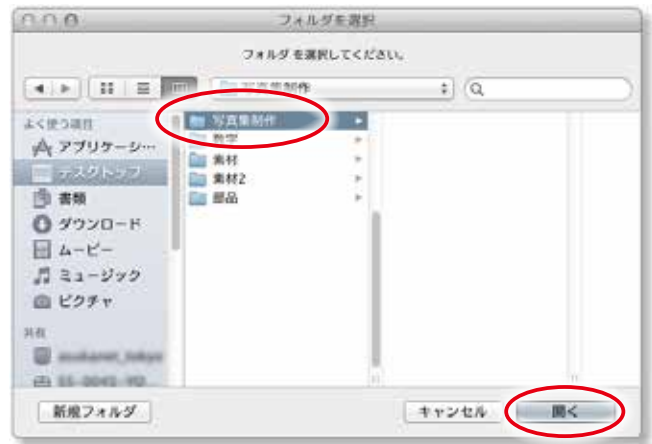
Adobe InDesign®の動作としては、RGBモードで作成されたホワイトベースに対してCMYK画像を貼付(コピー)しても、PDF書き出しの際に自動的にRGBモードに変換されますが、CMYKカラープロファイルの特性上、RGBモードに変換した場合の色調は保証の限りではありませんのでご注意ください。

もし、CMYK画像しか入手できない場合は、予めAdobe Photoshop®を用いてRGBモードに変換してからご利用ください。

手順3 ホワイトベースを作成するフォルダを選択

前の工程で「OK」ボタンをクリックしたことにより、「フォルダを選択」ダイアログが表示されます。

これから作成するホワイトベースを保存する場所を選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



ご注意

ホワイトベースを保存するフォルダは、空のフォルダを選択、もしくは作成してください。

選択したフォルダの中にファイルや他のフォルダが入っている場合、右図の警告が表示されます。

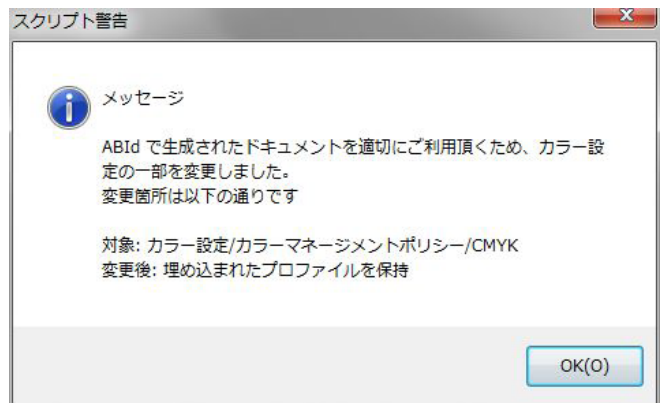


ご注意

ホワイトベースを作成する際に、右図のメッセージが表示されることがあります。

これは、現在動作中の Adobe InDesign® に設定されているカラー設定と、これから作成されるホワイトベースに設定されるカラー設定が異なる場合に表示されます。

このまま「OK」をクリックして、レイアウト作業に進んでください。



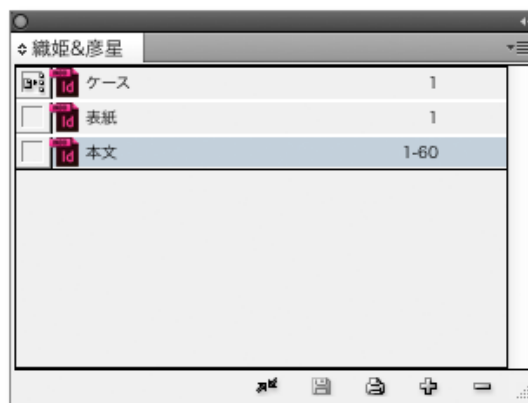
手順4 ブックファイルの名称を入力する

Adobe InDesign®が生成するブックファイル(拡張子indb)の名称として、選択したフォルダ名と同じ名称が表示されます。この名称で構わない場合は、このまま「OK」をクリックしてください。ホワイトベースの生成が始まります。

- 必要に応じて別の名称を入力しても結構です。
- ホワイトベースの生成には多少の時間が掛かります。時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。

ホワイトベースが生成されるとAdobe InDesign®上に右図のようなパネルが表示されます。これはブックファイル(拡張子がindb)の内容を表示したもので、Adobe InDesign®の機能の一つです。

- 右図は写真入りのケースが付属する商品の例です。写真入りケースが付属しない商品の場合は「表紙」と「本文」のみが生成されます。



アドバイス!

上記の例の場合、フォルダ内のファイルは右図のようになります。これら生成されたブックファイルセットは常にひとまとめとして管理してください。



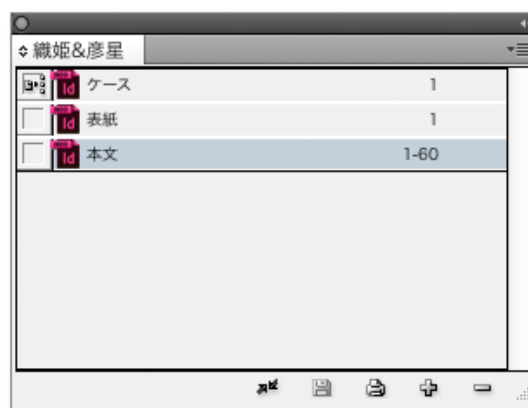
ファイルを開く際の注意点

開く際は、必ず拡張子が「.indb」というブックファイルを開いてブックパネルを表示させます。ブックパネル上から本文や表紙のデータを開いて編集します。

詳細は、6-1 ページの「6-1. Adobe InDesign のファイルの特長」をご参照ください。



飛鳥ご両家様.indb



ブックパネルから「表紙」、「本文」等を開いて編集します

※indbファイルは、「表紙」、「本文」等のファイルを統括しているファイルです、必ずこのファイルを開いてください

5-2. 新規ホワイトベースの登録機能

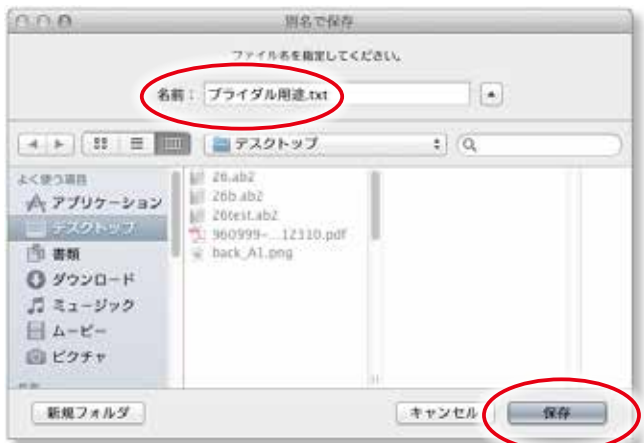
商品名、サイズ、ページ数などの組み合わせを登録しておくことができます。

5-2-1. ホワイトベースの登録

仕様の欄をすべて選択したら「保存」ボタンをクリックしてください。



右図のダイアログが表示されるので、「名前」の欄にASUKABOOKの仕様や用途に応じた判りやすい名称を入れてください。



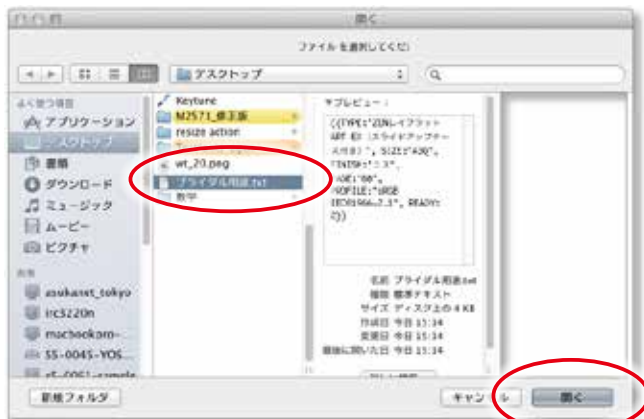
- ファイル形式はtxt (テキスト形式) になります。

5-2-2. 登録したホワイトベースの読み込み

登録したホワイトベースを呼び出す場合は、「読み込み」ボタンをクリックしてください。



ダイアログが開きますので、登録した名称を選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



6. ASUKABOOK編集上のコツ

6-1. Adobe InDesign®のファイルの特長

Adobe InDesign®には、「ドキュメントファイル」(拡張子がindd)と、「ブックファイル」(拡張子がindb)と呼ばれるファイルがあります。

①ドキュメントファイル

ドキュメントファイル(indd)は、文字、写真、イラストなどの素材をレイアウトするためのファイルで、いわゆる「紙面」として印刷されるものです。一つのドキュメントファイルの中で設定できるページの大きさは一つであり、異なるサイズのページを持つことはできません。

ASUKABOOK®では、「表紙ページ」と「本文ページ」、商品によっては「ケース用ページ」のサイズ、および解像度が異なります。そこで紙面サイズが異なる度にドキュメントファイル(indd)を持つことになります。

②ブックファイル

ブックファイル(indb)は、この複数で構成されるドキュメントファイルを一つのブックとしてまとめ、認識するためのファイルです。ASUKABOOK®は、このブックファイルを用いて「表紙ファイル」、「本文ファイル」、「ケースファイル」をひとつの製品として認識しています。

6-2. Adobe InDesign®専用ホワイトベースの解説

アスカネットではASUKABOOK®の商品名、サイズ、ページ数に合わせたベースファイルを用意しており、これを「ホワイトベース」と呼んでいます。ASUKABOOK®のWebサイトではPSD形式で構成されたホワイトベースをダウンロードできるようになっていますが、これはAdobe Photoshop®を用いてレイアウト編集を行うためのものです。

Adobe InDesign®でレイアウト編集を行うためには、Adobe InDesign®のファイル形式に合わせたホワイトベースが必要です。これをAdobeスクリプトを用いて自動生成するのが「ABId」の「新規ホワイトベース」機能です。



ホワイトベースは表紙ファイル、本文ファイル、ブックファイルがセットになって生成されます。なお、ケースにデザインができる商品はケース用ファイルも自動生成されます。

- 「ABId」により生成するホワイトベースは、ひとつのフォルダに「表紙」ファイルと「本文」ファイルに分けて保存されます。これらのファイルはAdobe InDesign®ではドキュメントファイル(拡張子indd)と呼ばれます。
- ボックスやケースにデザインができる製品の場合は「ケース」ファイルも生成されます。

- 「本文」にはページの周辺部に幅3mmの裁ち落とし幅を設けています。メニューの「ファイル/ドキュメント設定」で裁ち落とし幅の確認ができますが、この寸法を変更しないでください。変更すると、注文用PDFを書き出す際にエラーとなります。
- 「表紙」、「ケース」については、商品ごとにそれぞれ独自の裁ち落とし幅を設けています。
- 「本文」ファイルは、解像度271dpi (ASUKABOOK®標準印刷解像度) で出力されます。
「表紙」、「ケース」については、解像度260dpi で出力されます。
- この他に「ブックファイル」が生成されます。ブックファイルとは、サイズやページ数などが異なるドキュメントファイルをひとつにまとめる役目を持ち、拡張子は「indb」です。
- ASUKABOOK®は全て「左綴じ」です。
- 「ABId」が生成するホワイトベースには、下図のように赤字で書かれた解説が入っているページがあります。
この表記は「削除レイヤー」というレイヤーに書かれていますので、レイヤーパネルを開くとご確認頂けます。この解説や注意事項をよくお読みになり、レイアウトの参考にしてください。

なお、この「削除レイヤー」は、注文用PDFを書き出す際には出力されません。よってこの「**削除レイヤー**」に写真などのオブジェクトを配置していると注文用PDFに書き出されませんのでご注意ください。



例は、ホワイトベースの表紙に記述されている解説



「削除レイヤー」はレイヤーパネルで確認することができる。

6-3. Adobe InDesign のファイルの扱い方

前項で説明した通り、Adobe InDesign®で制作するASUKABOOK®は、「ドキュメントファイル(拡張子 indd)」と「ブックファイル(拡張子 indb)」で構成されており、両者は関連づけがされています。

このため、ドキュメントファイル(拡張子 indd)を直接開いて編集した場合、「indb」との関連性が崩れてしまいます。これを防ぐため、ドキュメントファイル(拡張子 indd)を開く時は、ブックファイル(拡張子 indb)を先に開き、ブックファイルの内容が表示されているリストからドキュメントファイルを開くようにしてください。

6-3-1. ドキュメントファイルの開き方

手順1 まずブックファイルを開く

これから編集を行うブックファイルセットが入っているフォルダを開き、ブックファイル(拡張子 indb)をダブルクリックして開いてください(右図赤丸印参照)

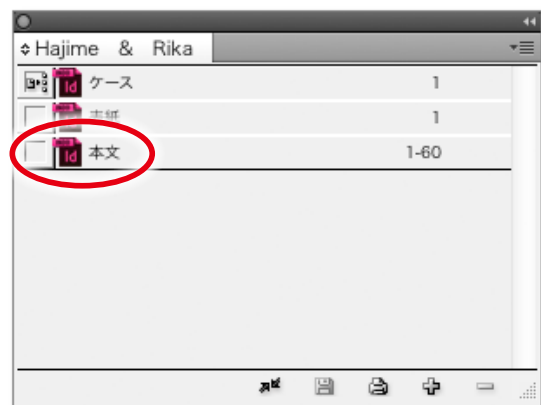
Adobe InDesign®上にブックファイルが右図のように開きます。これを「ブックパネル」と呼びます。

※フォルダから直接「表紙」、「本文」等のファイルを開かないでください。
必ず拡張子が「.indb」を開いてブックパネルから開いてください。



手順2 ドキュメントファイルを開く

例えば、「本文」を編集したいときは、この「ブックパネル」の中の「本文」をダブルクリックしてください。(右図赤丸印)



本文ファイルが表示されます。

アドバイス!

ブックファイル(拡張子 indb)を無視してドキュメントファイル(拡張子 indd)を直接開いても編集は行えますが、場合によっては関連性が修復できなくなることもあるようです。できるだけ上記のように、ブックファイルからドキュメントファイルを開くようにしてください。

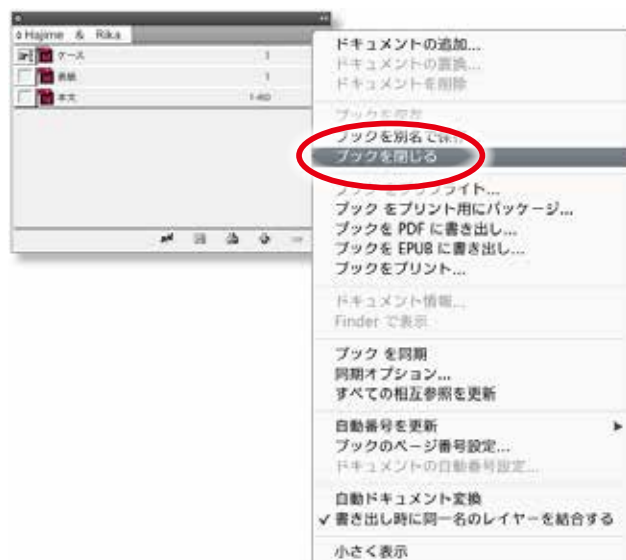


6-3-2. ファイルの閉じ方

① ドキュメントファイルの閉じ方

ドキュメントファイルを閉じるときは、特別な閉じ方はありません。

通常の使い方と同様に、ドキュメントファイルを保存してから、閉じてください。



② ブックファイルの閉じ方

ブックファイルを閉じるときは、ブックパネルのプルダウンメニューから「ブックを閉じる」をクリックしてください。

●ブックパネルは Adobe InDesign® メニューの「ファイル」からは閉じることができません。

●ブックパネルを閉じる際、もしも右図のような警告が表示された場合は、このブックファイルに関連するドキュメントファイルに変更が加えられていることを意味します。


ドキュメントファイル(本文、表紙、ケースなど)に変更を加えている場合は、必ず「保存」をクリックしてください。

保存をしなかった場合には、ブックファイルとドキュメントファイルの関連性が保たれませんので、注文用PDFの書き出し時に不具合が発生することがあります。



6-3-3. ブックファイルの修復方法

ドキュメントファイルに何らかの不具合がある場合は、ブックパ

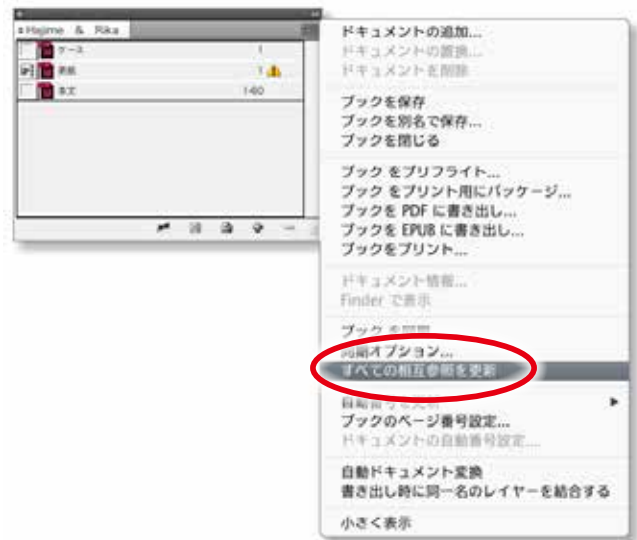
ネルに  マークが表示されます。

これを修復するには、以下の様に行ってください。




手順1 「すべての互換参照を更新」をクリック

ブックパネルのメニューボタンをクリックし、プルダウンメニューの「すべての互換参照を更新」をクリックしてください。この操作で関連性が自動で修復されます。

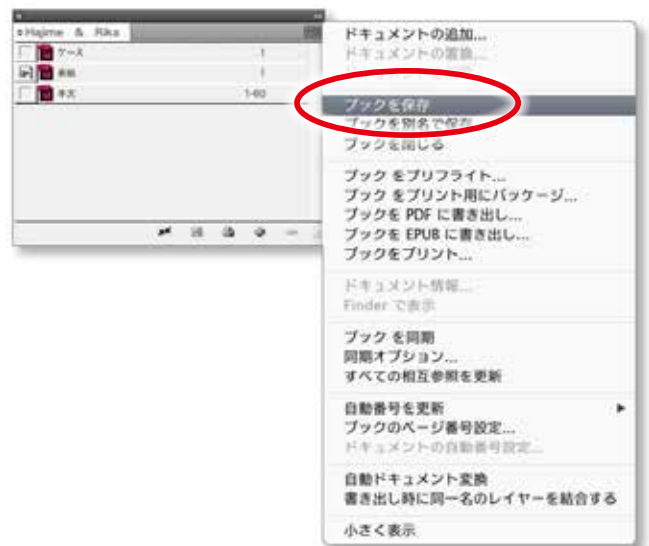


関連づけができると右図のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

**手順2 ブックファイルを保存する**

ブックパネルに表示されていた  マークが消えていることを確認したら、ブックファイルを保存してください。

ブックパネルのメニューボタンをクリックし、プルダウンメニューの「ブックを保存」をクリックしてください。この操作でブックファイルは保存されます。



7. 注文用JPEGファイルの作成方法

レイアウトが完成したら、注文用のPDFに書き出しを行います。


手順1 ブックファイルを開く

まず、注文用JPEGデータの書き出しを行いたいブックファイルを開きます。拡張子が「indb」のファイルをダブルクリックして開いてください。




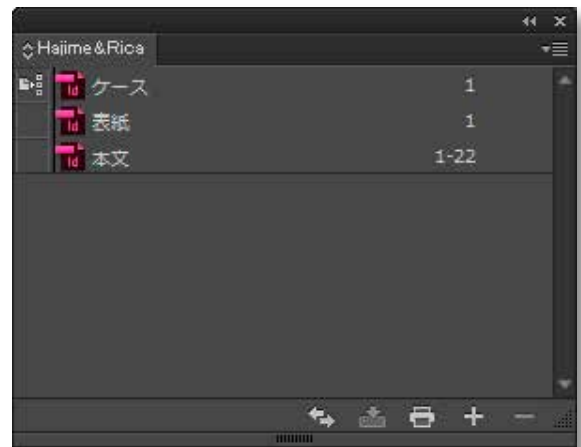
Adobe InDesign®により右図のようにブックファイルが開き、構成されるファイル(「表紙」、「本文」、「ケース」)がリストとして表示されます。

ご注意

もし、このパネルの中のリストに  マークが表示されている場合は、ドキュメントファイル(拡張子ibdd)に何らかの不具合があることを示しています。

この場合には書き出しが行えませんがブックファイルの修復を行ってください。

 修復方法については「6-3-3. ブックファイルの修復方法」6-4ページをご覧ください。



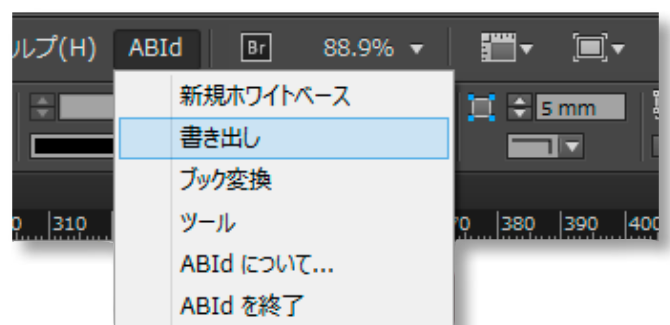
手順2 Adobe Bridge® を起動する

注文用PDFの書き出しには Adobe Bridge® が動作していることが必要です。もし、動作していない場合には Adobe Bridge® を起動してください。



手順3 「書き出し」をクリック

Adobe InDesign®に戻り、メニューの「ABId」からプルダウンメニューの「書き出し」をクリックしてください。

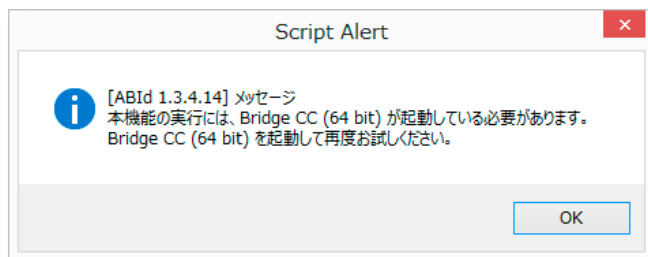


「書き出し」ダイアログが表示されます。



ご注意

「書き出し」には Adobe Bridge® が動作していることが必要です。もし、動作していない場合には右図のメッセージが表示されますので「手順-2」に戻って Adobe Bridge® を起動してください。



手順4 JPEG 書き出しフォルダを選択

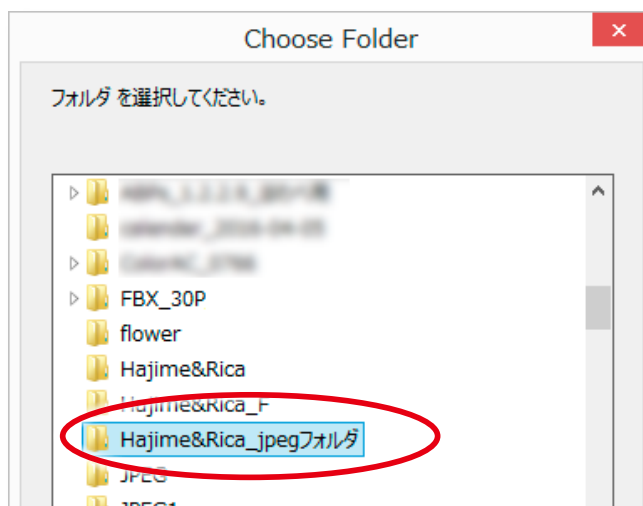
「JPEG 出力先」のボタン(右図赤枠参照)をクリックし、ブックファイルセットから JPEG ファイルを書き出すためのフォルダを選択します。



JPEG ファイルを書き出すためのフォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

アドバイス!

あらかじめ、JPEG ファイルを書き出すための空のフォルダを用意してください。



ご注意

ABId1.3.4.14からPDFデータ作成用のFile Checkerは、ご利用になれません。

ご入稿はJPEGデータのみとなりますので、JPEGデータを書き出してご入稿ください。

**手順5 注文用 JPEG ファイルの書き出し**

「書き出し」ダイアログから「OK」をクリックすると、書き出しが始まります。

**アドバイス！**

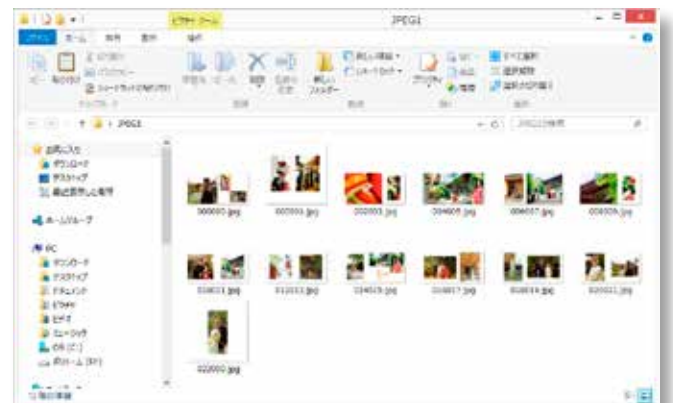
Adobe InDesign® が JPEG ファイルを生成するにはある程度の時間がかかります。この時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。

**手順6 書き出された JPEG フォルダが開きます**

ここで作成された JPEG ファイルをマイページから入稿します。

アドバイス！

- 表紙に相当するファイル(000000.jpg) とケースファイルの解像度は260dpi、本文ファイルの解像度は271dpiになっています。



8. ご注文について

8-1. ご注文までの流れ

書き出した「注文用JPEGファイル」は、弊社がご提供する「マイページ」からインターネット経由で「JPG入稿」からアップロードしてください。

もしくは、CD、DVDなどのメディアに保存後、宅配便にて発送してください。



◆「マイページ」について(2012年1月25日より開始)

「マイページ」とは、アスカブックサービスと契約があるお客様にご提供されるサービスです。「マイページ」にログインをしてご注文をして頂くと、お客様のご注文状況の確認、発送したブックのお問い合わせ番号と状況確認、増刷のご注文などがインターネットを通じて行えるようになります。

なお、「マイページ」は登録制になっております。ご契約後において「マイページ」のご登録がお済みでない方は、

<https://asukabook.jp/app/customer/user/mypage/myPage> にアクセスして、ご登録をお願いします。

8-2. ご注文後の流れ・キャンセル・増刷について

- ① 毎日23時59分59秒までに「マイページ」からの送信によりご注文が完了したものを、翌営業日から起算して6営業日に出荷させていただきます。商品によっては、3営業日に出荷されます。
- ② ご注文の日時は、アップロード完了後の30分前後で返信される「ご注文のお知らせ」のメールに記載されている「受付日」をご確認ください。
- ③ 出荷についてはASUKABOOK® ホームページより「出荷予定日表」にてご確認ください。
- ④ お客様自身によるキャンセル処理は、アップロード送信当日の23時59分まで可能です。「マイページ」よりログインして頂き、「お客様情報」→「発注履歴」→「注文済み(完全データ発注)」よりご注文をキャンセルすることが可能です。

- ⑤ キャンセルが送信の翌日になってしまった場合は、AM9:00までにサポートセンターまでEメール(info@asukabook.jp)にてご連絡下さい。
この際、ユーザー ID、お客様名、キャンセルされるファイル名 を必ずご連絡ください。
この時間を過ぎた場合には、別途キャンセル料金がかかりますのでご了承ください。
- ⑥ 受注確定の場合は、翌営業日に「確認書」がアスカネットよりFAXにて送信されます。
- ⑦ 3ヶ月以内の増刷発注は、「マイページ」の「増刷」よりご発注することができます。

9. ブック変換

すでにレイアウトができあがった写真集を元にして、ブックの種類、サイズ、ページ数、仕上げを変えることによって別の写真集を作ることができます。

例えば、「ハードカバー、A3Q、40ページ」を元にして、「ZENレイフラット、ART EXD、A4Q、60ページ」に変換することができます。



ブック変換の際は、11-1 ページの「11. 編集上のご注意」も併せてご参照ください。

9-1. ブック変換のルール

「ABId」バージョン1.2からは、ブック変換の方法を変更しました。

ASUKABOOK®は2012年9月に「ZENレイフラット」、および「KINARI」を追加しました。2013年6月に「オンデマウント」、「URUSHI」を、2014年6月に「えほんBOOK」、「ボードライト」などを追加しました。さらに2015年5月、新商品として「conté」、「SHIRONARI」、「オンデパネル」、「ギャラリー BOX」、「メディアケース(USB)」を追加しております。また、従来のシリーズにも新サイズを追加したことから、ブック変換の組み合わせが多様になりました。

従来方式では、変換元のブックファイルセットから、変換先のブックファイルセットを直接生成していました。しかしブック変換を確実にを行うため、変換先のホワイトベースを予め用意してから、変換元のレイヤーを変換先のホワイトベースに対して大きさを合わせてコピーする方法に切り替えました。このことにより、シリーズ間で変換できる組み合わせが従来よりも多くなりました。

9-1-1. 事前の準備

① 変換先のホワイトベースの用意

変換先のブックファイルセット(ホワイトベース)は、「ABId」の「新規ホワイトベース」にて予め用意してください。



この方法については、「5. ホワイトベースの生成」5-1ページをご覧ください。

② 変換元のブックファイルセットの確認

以前に作成した(もしくは作成中の) ASUKABOOK®のフォルダを開き、ブックファイルセットの確認を行ってください。

確認する内容としては、画像、イラストのリンク切れ、ブックファイルとドキュメントファイルの関連性の確認等です。



ブックファイルとドキュメントファイルの関連性修復については、「6-3-1. ドキュメントファイルの開き方」6-3ページをご覧ください。

9-1-2. 注意事項

① ブック変換処理の方法

変換処理は、変換元のブックファイルセットを変換先のブックファイルセット(新規ホワイトベースで作成したファイル)にコピーすることで行われます。選択した変換元のブックファイルセットに変更が加えられることはありませんので、ご安心ください。

② 本文ページと表紙・ケースは個別に変換を

新しいブック変換方式では、本文ファイルと本文ファイル以外(表紙ファイル、ケースファイル)を独立して個別に変換してください。

◆例えば、変換元のブックファイルセットに、本文ファイル、表紙ファイル、ケースファイルの3種類がある場合に、これを同じ商品名の小さいサイズに変換するには、ツールの「ブック変換」機能を3回利用して各ファイルごとに変換を行ってください。



詳しくは「9-2. ブック変換の例 その1 / 以前に作成したブックを元にして、他のブックを作る」9-4ページをご覧ください。

③ ブック変換の制限事項

③-1. サイズ変換は、縮小の方向のみです。

拡大方向のサイズ変換には対応していません。このため、同じ写真素材を用いていくつかのサイズの写真集を制作する際には、必要とするサイズの最大サイズからレイアウトを初めてください。

例；B5QからA3Qへの変換はできません。

③-2. 本文ファイルと表紙・ケースファイルの互換性

表紙ファイルとケースファイルは、本文ファイルに変換することはできません。その逆の変換、つまり本文ファイルを表紙ファイル、およびケースファイルに変換することはできます。

また、表紙ファイルとケースファイルはお互いに変換できます。

変換できる例； ケースから表紙ページへ

変換できない例； 表紙ページから本文ページへ

③-3. 縦横比が異なるブックサイズへの変換はできません。

変換できる例；A3Q→B5Q（いずれも正方形タイプ）

変換できない例；A3Q→A4（正方形タイプ→縦型タイプ）

④ 変換後にはレイアウト確認を

ブック変換は、仕上がり領域の高さ寸法を基準にサイズ調整を行っています。但し、一部適用されない商品もあります。（例：塗り足しより内側にガイドラインがある商品）このため、ブック変換後はレイアウトされたデザインの横方向、もしくは縦方向のレイアウトが変換元と比較して位置ずれを起こすことがあります。

ブック変換後には、必ず変換先のブックファイルセットを開き、レイアウトの確認を行い、必要に応じて微調整を行ってください。特に表紙ファイルの「背表紙」部分は位置ずれが起こりやすい箇所ですので、必ず確認、微調整を行ってください。

⑤ カラープロファイルについて

変換元と変換先のブックファイルセットに埋め込まれているカラープロファイルがお互いに異なる場合は、ブック変換はできません。変換先のホワイトベース（ブックファイルセット）を作成する場合は、変換元のプロファイルをあらかじめ確認し、同じプロファイルを指定してください。

⑥ ブック変換時におけるマスタープレッドの扱いについて

「ABId」のブック変換機能を使って変換元のデータを変換先のホワイトベースにコピーする際、同時にマスタープレット（マスターページ）もコピーされます。これはAdobe InDesign®の本来の機能ですが、マスターページ登録の際に画像やイラストなどのオブジェクトを含んでいるとこのオブジェクトも変換先にコピーされ、本文ページの画像などとオーバーラップすることがあります。これを防ぐため、ABIdはマスタープレッド（マスターページ）をコピーしない状態を初期設定としています。

もし、マスタープレッド（マスターページ）をコピーする必要がある場合は、ブック変換を行う前にコピーするように設定を変更してください。



変更の操作については「10-6. ブック変換時のオプション機能」10-6ページをご覧ください。

⑦ ページ数の増減

ページ数の増減は、「ABId」の「ブック変換」機能を使って行ってください。Adobe InDesign®の「ページを挿入」などの機能を使って「本文ファイル」のページ増減を行うと、「表紙ファイル」内部の「背表紙」の幅寸法との整合性が無くなり、注文用PDFを書き出す際にエラーとなってしまいます。

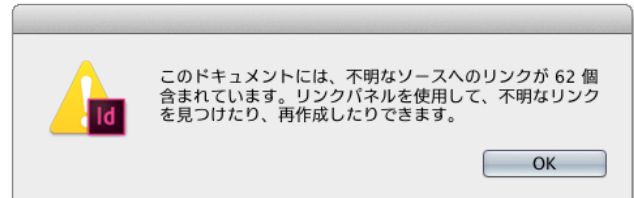


詳しくは「9-3. ブック変換の例 その2 / ページ数を変更する」9-11ページをご覧ください。

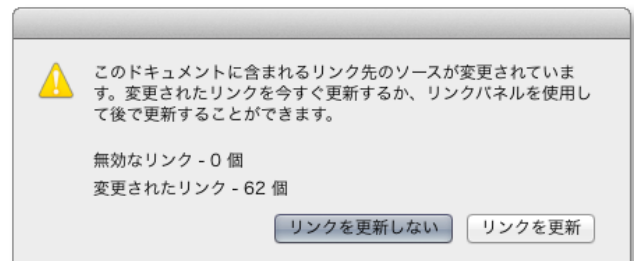
⑧ ブック変換後の画像のリンク先について

「ブック変換」を行った際、変換先のブックファイルセットのフォルダの位置によっては、Adobe InDesign®が画像のリンク先を特定できない場合があります。

その時には、ブック変換中に右図のメッセージが表示されます。



この場合には、変換先の該当するファイルを開いたときに、右図のメッセージが表示されますので、「リンクを更新」をクリックして、変換元のファイルセットが利用しているリンク先に再リンクを行ってください。



⑨ ブック変換ができない組み合わせ

ASUKABOOK®では、ブックの構造、および判型が異なるため、変換ができない組み合わせがあります。

例えば「オンデマウント」、「オンデマウントKINARI」、「KINARI」、「KINARIプレミアム」はブックの構造、および判型が他のシリーズと異なるため、ブック変換の対象外となっています。

ブック変換ができない組み合わせを指定している場合は、変換実行時に右図のメッセージが表示されます。



⑩ ブック変換の例外

「URUSHI」は他のシリーズと相互変換が可能です。

ただし、表紙についてはレイアウトが大きく崩れますのでご注意ください。

解説

他のシリーズのホワイトベースは表^{おもて}表紙面(表一)と裏^{ひょういち}表紙面(表四)が一对となっています。ところが、「URUSHI」はブックの構造上、裏表紙に写真をレイアウトすることができないことから、ホワイトベースは表^{おもて}表紙面のみとなっています。

このため、表紙ページを他のシリーズに変換する、もしくは他のシリーズから変換するとレイアウトが大きく崩れてしまいます。表紙ページは手作業にてレイアウト変換することをお勧めします。

9-2. ブック変換の例 その1 / 以前に作成したブックを元にして、他のブックを作る

すでにレイアウトが終わっている「ハードカバー、A3Q、60ページ」を元にして、「ZENレイフラット ART EXD、A4Q、60ページ」を制作する場合を例にしてご説明します。

以前に作成した「ハードカバー、A3Q、60ページ」を変換元とする。

変換先を「ZENレイフラット ART EXD、A4Q、60ページ」として、新しいブックを作成する。



9-2-1. 変換先のホワイトベースを用意する

まず、変換先となる「ZENレイフラット ART EXD、A4Q、60ページ」のホワイトベースを作成します。

手順1 新規ホワイトベースをクリック

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

プルダウンメニューの「新規ホワイトベース」をクリックしてください。



手順2 ブックの仕様を選択

「新規ホワイトベース」のダイアログが表示されますので、これから制作するブックの仕様を選択します。

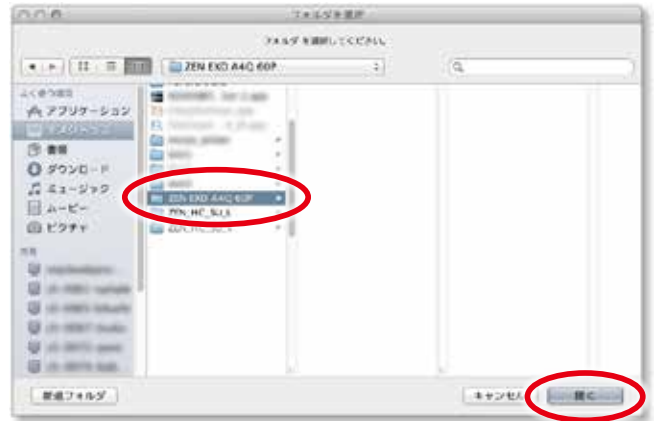
「ZENレイフラット ART EXD、A4Q、60ページ」となるように各項目を選択してください。

すべてを選択したら「OK」をクリックしてください。



手順3 保存先を選択する

「フォルダを選択」ダイアログが表示されますので、ホワイトベースを保存する場所を選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



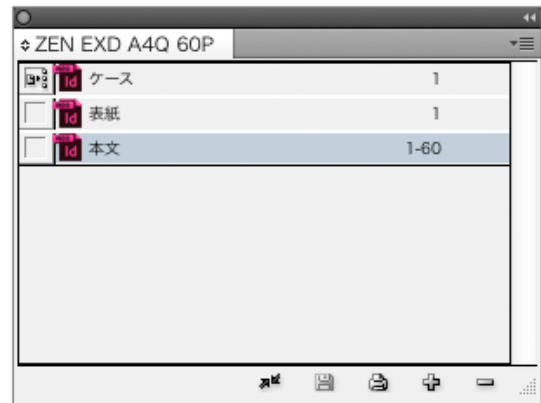
Adobe InDesign® が生成するブックファイル(拡張子 indb) の名称として、選択したフォルダ名と同じ名称が表示されます。この名称で構わない場合は、このまま「OK」をクリックしてください。ホワイトベースの生成が始まります。

- 必要に応じて別の名称を入力しても結構です。
- ホワイトベースの生成には多少の時間が掛かります。時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。



ホワイトベースが生成されると Adobe InDesign® 上に右図のようにブックファイル(拡張子が indb) の内容をリストにしたパネルが表示されます。

- 「ZENレイフラット ART EXD」は写真入りのケースが付属する商品です。



作成したフォルダ内のファイルは右図のようになります。これが「変換先」のファイルになります。



9-2-2. 変換作業(本文の変換)

変換先のホワイトベースが用意できたら変換作業を行います。変換作業は、「本文ファイル」と「表紙ファイル」の2回に分けて行います。

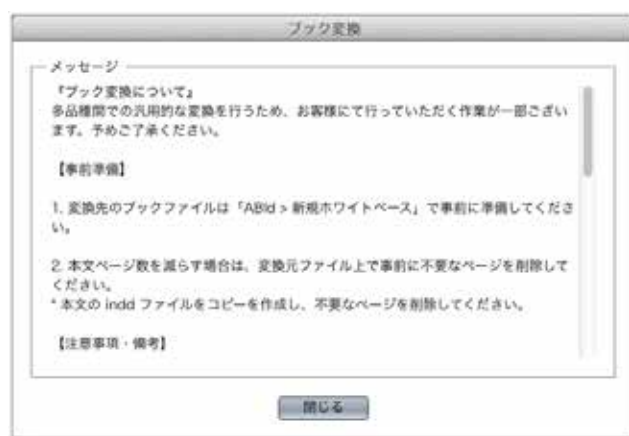
手順1 ブック変換をクリック

まず、「本文ファイル」の変換を行います。

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューの「ブック変換」をクリックしてください。



ブック変換に関するメッセージが表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



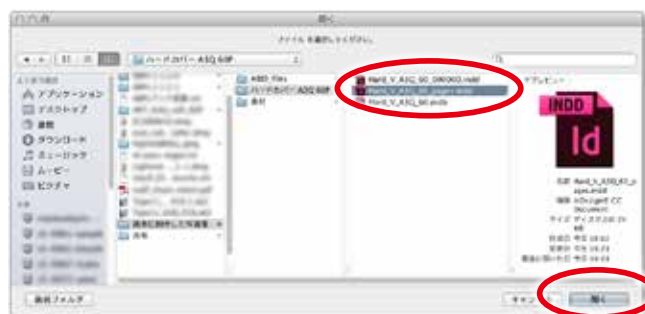
手順2 変換元の「本文ファイル」を選択

「ブック変換」ダイアログが表示されますので、変換元ファイルのボタン(右図赤枠)をクリックします。



「ファイルを選択」ダイアログが表示されますので、変換元の「本文ファイル」を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

- この例では、
「過去に制作した写真集/ハードカバー A3Q 60P」というフォルダの中の「Hard_V_A3Q_60_page.indd」ファイルになります。



手順3 変換先の「本文ファイル」を選択

「ブック変換」ダイアログに戻りますので、変換先ファイルのボタン(右図赤枠)をクリックします。



「ファイルを選択」ダイアログが表示されますので、変換先の「本文ファイル」を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

- この例では、
「ZEN EXD A4Q 60P」というフォルダの中の「本文.indd」ファイルになります。

**手順4 「OK」をクリックして変換開始**

「ブック変換」ダイアログに戻ります。
変換元、および変換先ファイルが右図のように設定されました。
「OK」をクリックすると変換が始まります。

- ブック変換には多少の時間が掛かります。時間はブックサイズ、ページ数、お使いのコンピュータの能力により異なります。



変換が完了すると変換先のフォルダが表示されます。



9-2-3. 変換作業(表紙の変換)

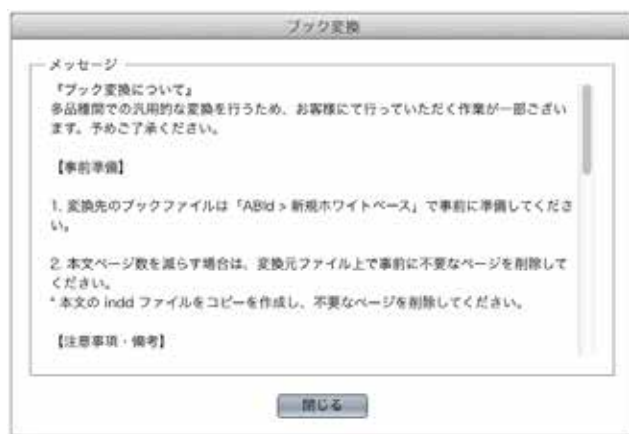
手順1 もう一度、ブック変換をクリック

今度は「表紙ファイル」の変換を行います。

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックし、プルダウンメニューの「ブック変換」をクリックしてください。



ブック変換に関するメッセージが表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



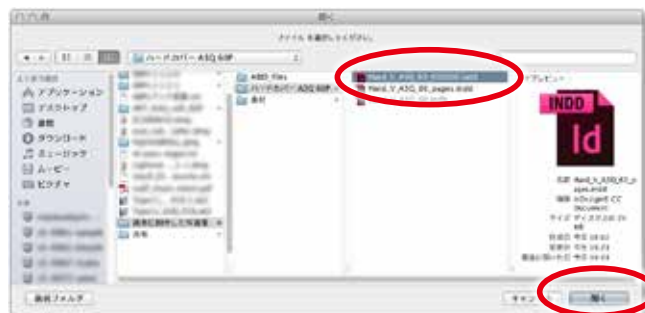
手順2 変換元の「表紙ファイル」を選択

「ブック変換」ダイアログが表示されますので、変換元ファイルのボタン(右図赤枠)をクリックします。



「ファイルを選択」ダイアログが表示されますので、変換元の「表紙ファイル」を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

- この例では、
「過去に制作した写真集/ハードカバー A3Q 60P」というフォルダの中の「Hard_V_A3Q_60_000000.indd」ファイルになります。



手順3 変換先の「表紙ファイル」を選択

「ブック変換」ダイアログに戻りますので、変換先ファイルのボタン(右図赤枠)をクリックします。



「ファイルを選択」ダイアログが表示されますので、変換先の「表紙ファイル」を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

- この例では、
「ZEN EXD A4Q 60P」というフォルダの中の「表紙.indd」ファイルになります。

**手順4 「OK」をクリックして変換開始**

「ブック変換」ダイアログに戻ります。

変換元、および変換先ファイルが右図のように設定されました。

「OK」をクリックすると変換が始まります。



変換が完了すると変換先のフォルダが表示されます。



手順5 変換先のレイアウトを確認

変換先の「本文ファイル」と「表紙ファイル」を開いてレイアウトの確認を行ってください。

- この例では、サイズが「A3Q」から「A4Q」に変更されています。ページ数は60ページで同じです。
本文ファイルは「A3Q」から「A4Q」に縮小され、60ページ分すべてが変換先にコピーされます。

ご注意

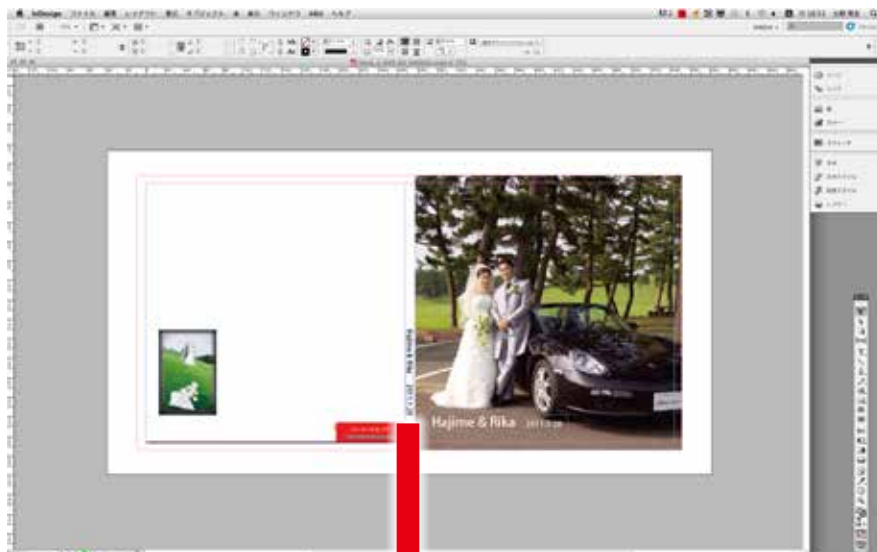
変換元と変換先のサイズが同じ場合であっても、商品が異なると製本方式が異なるため、ホワイトベースのサイズが僅かに異なる場合があります。

このため、変換先のレイアウトにズレが生じる場合がありますので、変換先のレイアウトを必ず確認し、必要に応じてレイアウトの微調整を行ってください。

本文ファイルの各ページのレイアウトを確認→

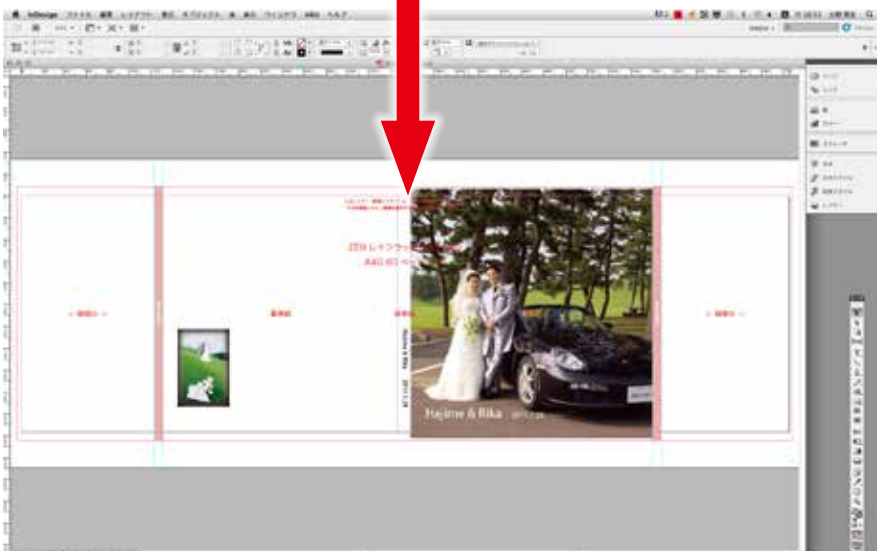


変換元である「ハードカバー A3Q」の表紙レイアウト



変換先である「ZENレイフラット ART EXD A4Q」の表紙レイアウト。

- 「ZENレイフラット ART EXD」の表紙には「巻きジャケット」が付属するため、「袖」と呼ばれる部分があります。この部分にもレイアウトが可能です。
- 製本の違いから「背表紙」の幅も異なりますのでレイアウトの調整を行ってください。



9-3. ブック変換の例 その2 / ページ数を変更する

本文のページ数を変更する場合は、「ABId」の「新規ホワイトベース」により、あらかじめページ数を増やした(あるいは減らした)ホワイトベースを用意してから、「ブック変換」機能を用いて制作中のレイアウトを新規に作成したホワイトベースに変換してください。

ASUKABOOK®は「表表紙」、「裏表紙」、「背表紙」をひとつの表紙ファイルにまとめてレイアウトを行っています。もし、本文のページ数を変更した場合には、「背表紙」の幅を製本の厚みに適合するようにする必要があります。「ABId」の「新規ホワイトベース」はこのことを考慮して「表紙ファイル」を生成しています。

ご注意

上記の理由により、ページ数を変更する場合には Adobe InDesign®の「ページを挿入」などの機能を使用しないでください。Adobe InDesign®の「ページを挿入」などの機能を用いて本文のページ数を増減してしまうと、「表紙ファイル」内部の「背表紙」の幅寸法との整合性が無くなってしまいます。これが原因となり、注文用PDFの書き出しの際にエラーとなってしまいますので、ご注意ください。


9-3-1. ページ数変更の手順

すでにレイアウトが終わっている(もしくはレイアウト作業中の)「ZENレイフラット ART EX スライドアップケース付き、A3Q、60ページ」を「70ページ」に変更する場合を例にしてご説明します。

上図のように「60ページ」を変換元、「70ページ」を変換先として、「本文ファイル」、「表紙ファイル」、「ケースファイル」の3つを個別に「ブック変換」機能を使ってコピーします。


手順1 変換先として「70ページ」のホワイトベースを用意する

まず、変換先として「ZENレイフラット ART EX スライドアップケース付き、A3Q、70ページ」のホワイトベースを作成します。

 ホワイトベースの作成方法については、「5. ホワイトベースの生成」5-1ページをご覧ください。

手順2 ブック変換作業

「60ページ」を変換元、「70ページ」を変換先として、「本文ファイル」、「表紙ファイル」、「ケースファイル」の3つを個別に「ブック変換」機能を使ってコピーします。

 ブック変換の操作方法については、「9. ブック変換」9-1ページをご覧ください。

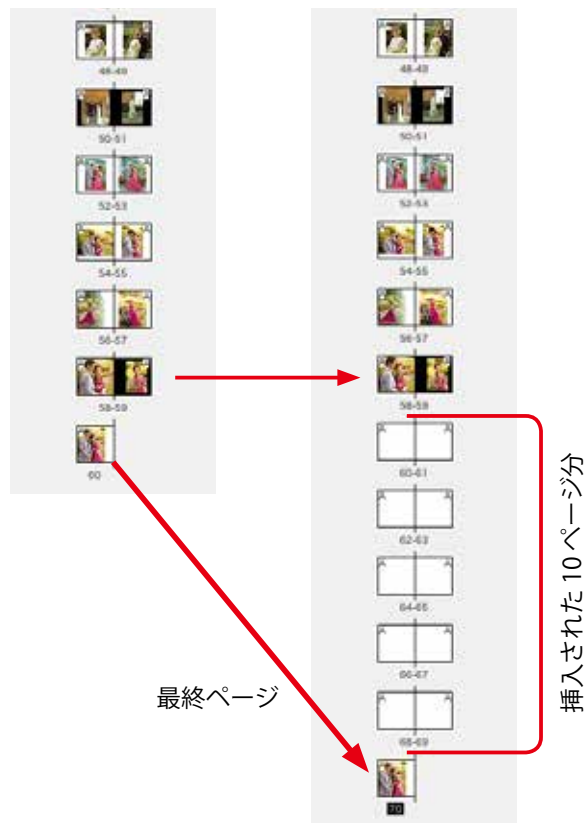


手順3 ページの編集作業

① 白紙のページにレイアウトを行う

「60ページ」を「70ページ」に変更した場合、変換先の本文ファイルには、60ページから69ページまでの間に白紙の10ページ分が挿入され、変換元の「最終ページ」が変換先の「最終ページ」にコピーされます。

白紙のページにレイアウトを行ってください。

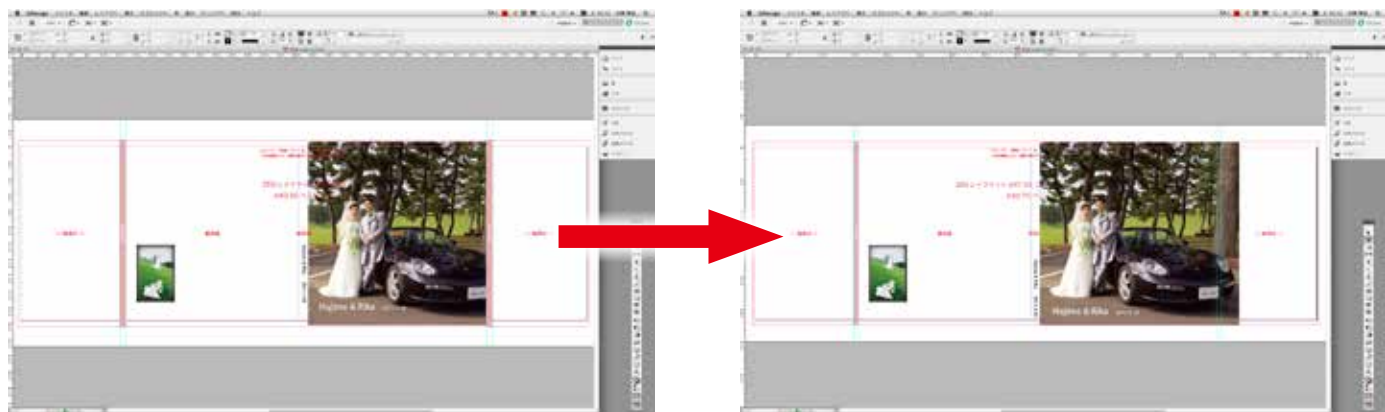


② 表紙ページの修正

ページ数が10ページ分増えたため、「表紙ページ」内部の「背表紙」の幅寸法が若干広がっています。表紙ページを開いて背表紙部分のレイアウトを調整してください。

60 ページ用の表紙ページ

70 ページ用の表紙ページ



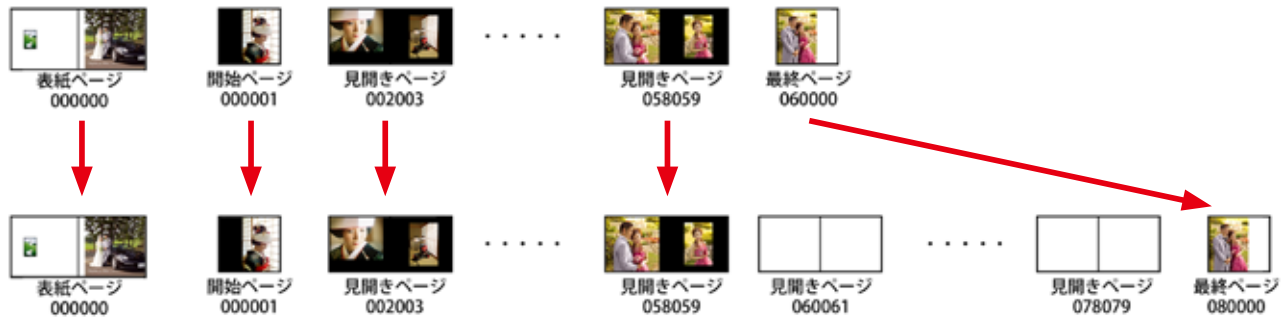
9-3-2. ブック変換／ページ数を増やす場合

ページ数を変更する操作においては、「新規ホワイトベース」の操作にて予めページ数を増やした変換先を作成しておき、「ブック変換」を使って本文ファイルと表紙ファイル(およびケース)を独立して変換作業を行ってください。

◆例えば、「60ページ」から「80ページ」に変更する場合

変換元の開始ページから59ページまでは変換先にそのままコピーされ、最終ページ(60ページ目)は変換先の最終ページ(80ページ目)にコピーされます。変換先の60ページから79ページまでは白紙となります。

変換元 (60 ページ)



変換先 (80 ページ)

●ページ数を増やす場合の作業手順

- 手順1** 変換先のブックファイルセットとして「80ページ」のホワイトベースを新規に作成する。
- 手順2** 「ブック変換」機能を使って、変換元に編集集中の本文ファイル「60ページ」を設定、変換先に①の「80ページ」を設定して変換。
- 手順3** 「表紙ファイル」「ケースファイル」も②と同様に変換。
- 手順4** 変換先(80ページ)の表紙ファイルのレイアウトを確認・調整する。
となります。

9-3-3. ブック変換／ページ数を減らす場合

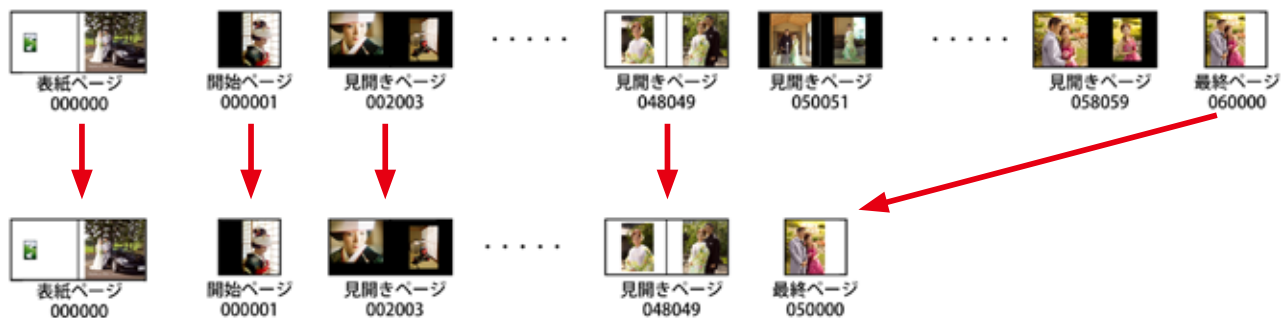
ページ数を減らす場合は、まず変換先にページ数を減らしたホワイトベースを新規に作成しておき、「ブック変換」を使って本文ファイルと表紙ファイル(およびケース)を独立して変換します。

◆例えば、「60ページ」から「50ページ」に変換する場合は、変換元の開始ページから49ページまでは変換先にそのままコピーされ、最終ページ(60ページ目)は変換先の最終ページ(50ページ目)にコピーされます。

変換元の50ページから59ページまではコピーされません。

● ページ数を減らす場合の作業手順

変換元 (60 ページ)



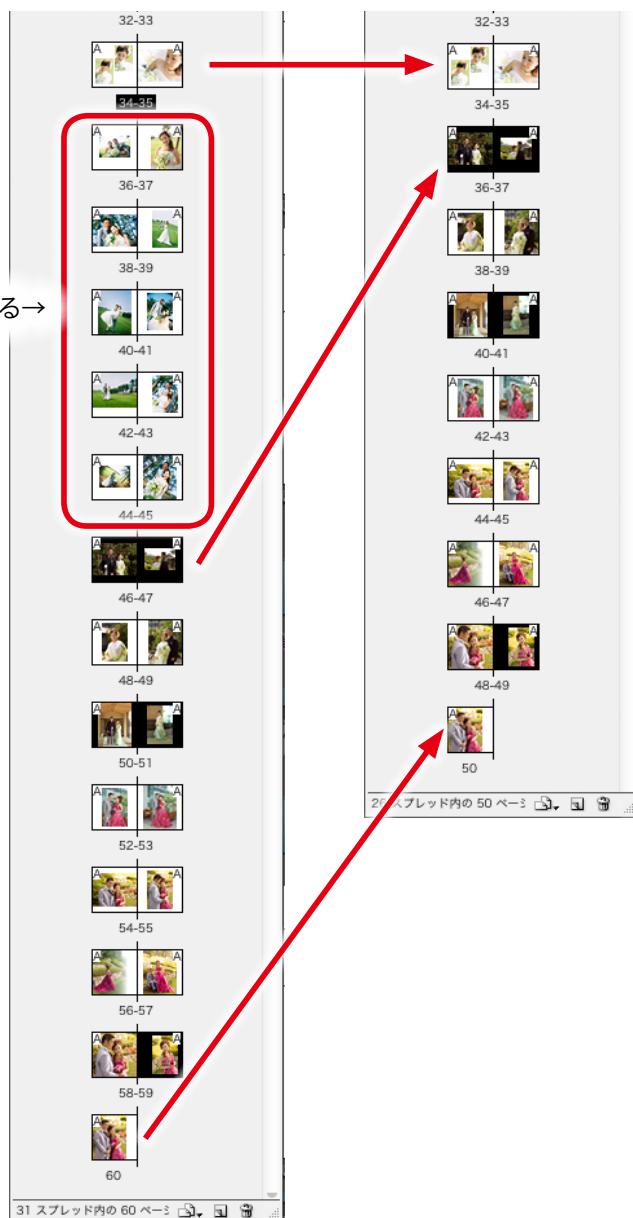
変換先 (50 ページ)

手順1 まず、変換元の本文ファイル(60 ページ)のコピーを作ります。
このコピーのファイル名を「50 ページ」などとしてください。

手順2 このコピーした本文ファイルを開いて、減らしたいページを削除し、活かしたいページだけで「50 ページ」なるように構成してください。

●この際、ページ数を減らす時にはAdobe InDesign®の「スプレッドを削除」などの機能を使って構いません。

10 ページ分を削除する→



手順 3 変換先のブックファイルセットとして「50 ページ」のホワイトベースを新規に作成します。

手順 4 「ブック変換」機能を使って、変換元に②で編集した本文ファイル「50 ページ」を設定、変換先に③で作成した「50 ページ」のホワイトベースを設定して変換。

手順 5 「表紙ファイル」、「ケースファイル」も変換。

手順 6 変換先(50 ページ) の表紙ファイルのレイアウトを確認・調整してください。

10. ツール

「ツール」には、ブック情報の確認、「ABId」の動作に関する設定などの機能があります。

10-1. ブック情報の確認

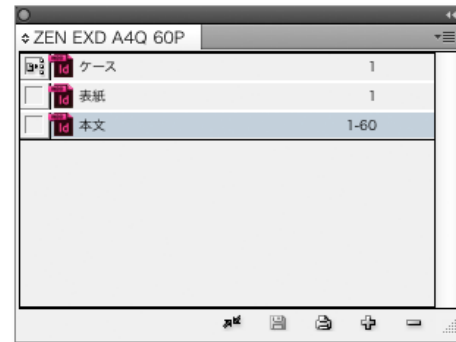
Adobe InDesign®で作成したASUKABOOK®には、ブックファイルに商品名、サイズ、ページ数などの情報が書き込まれています。以前に作成した(もしくは現在作成中の) ASUKABOOK®の詳しい情報を確認したい場合には「ABId」の「ツール」機能をご利用ください。

手順1 ブックファイルを開く

商品名、サイズ、ページ数、仕上げなどの仕様を知りたい ASUKABOOK®のフォルダを開き、ブックファイル(拡張子 indb) をダブルクリックしてください。



ブックパネルが表示されます。



手順2 「ツール」をクリック

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックし、プルダウンメニューの「ツール」をクリックしてください。



「ツール」のダイアログが表示されます。



「ツール」ダイアログの「ブック情報を見る」をクリックしてください。



右図のようにブック情報が表示されます。




アドバイス!

もし「メタデータ」が見つかりませんでした。」というメッセージが表示された場合には、古いバージョンの「ABId」で作成されたブックファイルセットであることを示しています。

●このようなブックファイルセットであっても、注文用PDFの書き出しは可能です。

●「ABId」バージョン1.2の方式に書き換える場合は、「新規ホワイトベース」機能を使って同じ商品名、同じサイズ、同じページ数のホワイトベースを作成し、「ブック変換」機能にて変換処理を行ってください。

 この方法については、「9-2. ブック変換の例 その1 / 以前に作成したブックを元にして、他のブックを作る」9-4ページをご覧ください。



10-2. 新規ホワイトベースの解説を省略する方法

「ABId」の「新規ホワイトベース」で生成したホワイトベースは、初期設定の状態では解説や注意事項が記述されています。この解説が不要である場合は、ホワイトベースの生成時に省略することができます。



例は、ホワイトベースの表紙に記述されている解説

手順1 「ツール」をクリック

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックし、プルダウンメニューの「ツール」をクリックしてください。

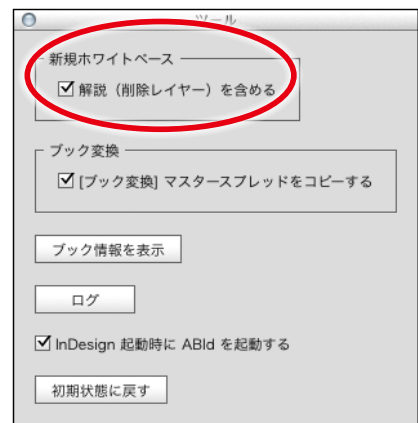


手順2 「解説を含める」のチェックを外す

「ツール」のダイアログが表示されます。

初期設定では、「新規ホワイトベース」の「解説を含める」にチェックが入っていますので、ここをクリックしてチェックを外してください。

- 次回の「新規ホワイトベース」生成時から解説が省略されます。




10-3. InDesign 起動時に「ABId」を起動させない方法

初期設定では Adobe InDesign® を起動すると同時に、「ABId」が起動します。

もし、同時に起動させたくない場合には、「ツール」ダイアログにある「InDesign 起動時に ABId を起動する」のチェックをクリックして外してください。

- 次回の Adobe InDesign® 起動時には「ABId」は同時に起動しないようになります。

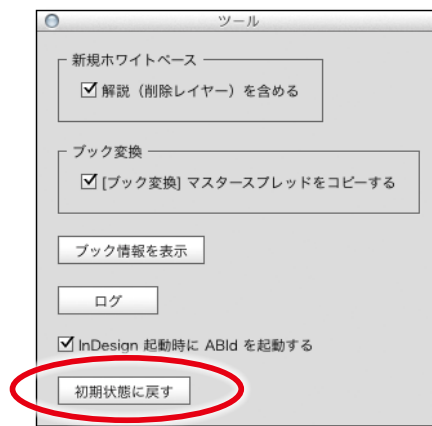
 この状態から「ABId」を起動する場合は、「4-3. ABIdの起動について」4-2ページをご覧ください。




10-4. 「ABId」の動作がおかしい場合

「ABId」の動作がおかしい場合は、「ABId」を初期化することができます。

「ツール」ダイアログにある「初期状態に戻す」をクリックしてください。



右図のメッセージが表示され、「ABId」が終了します。

 この状態から「ABId」を起動する場合は、「4-3. ABIdの起動について」4-2ページをご覧ください。



10-5. ログ

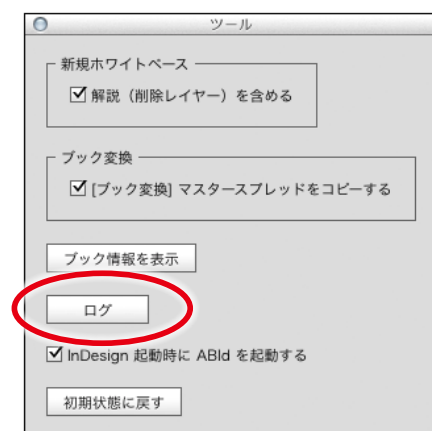
「ABId 1.3.4.5」から追加された機能です。「ABId」では、「ABId」の動作状態を常に記録しています。この記録を「ログ」と呼びます。これは「ABId」の動作にエラーが起こった際にその情報を記録し、原因追及に役立てるためです。

もし、「ABId」の動作中にエラーが発生し、しかもそれが再現される場合には、アスカネットのユーザーサポートにご連絡ください。ユーザーサポートから依頼があった際はこのログファイルをEメール添付などの方法にて弊社に送付してください。エラー発生原因の追及と復旧対策の参考にさせていただきます。

◆使い方

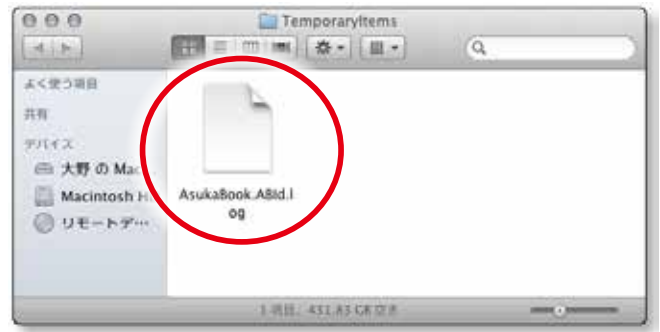
手順1 「ログ」をクリック

「ツール」ダイアログの「ログ」ボタンをクリックしてください。



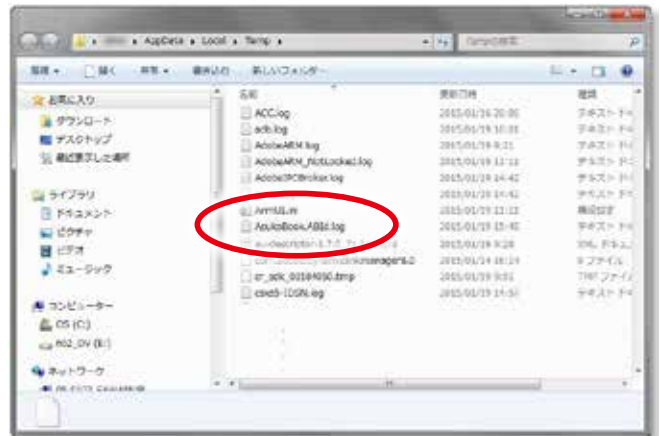
MacOSの場合

「TemporaryItems」というフォルダが開きます。
このフォルダの中にある「AsukaBook.ABId.log」という名称のファイルが「ログファイル」です。



Windowsの場合

「Temp」というフォルダが開きます。
このフォルダの中にある「AsukaBook.ABId.log」という名称のファイルが「ログファイル」です。



手順2 「ABId」の操作を行う。

「TemporaryItems」フォルダ(もしくは「Temp」フォルダ)を開いたまま、もう一度「ABId」の操作を行ってください。
この状態でエラーが発生しましたら、そこで「ABId」の操作を打ち切ります。エラーが発生するまでの状態は、ログファイルに記録されています。

手順3 ログファイルをアスカネットに送る。

ログファイルである「AsukaBook.ABId.log」ファイルをEメールに添付して、アスカネットユーザーサポートの担当者にお送りください。弊社にてABIdの動作を分析いたします。

フリーダイヤル ◆ 0120-520-410

営業時間 ◆ 9:30 ~ 18:00 月~金曜日 (祝祭日、夏期休暇、年末年始休暇を除きます)

お問い合わせ E-mail ◆ info@asukabook.jp

10-6. ブック変換時のオプション機能

10-6-1. [ブック変換] マスタースプレッドをコピーする

「ABId 1.3.4.8」から追加された機能です。

「ABId」のブック変換機能を使って変換元のデータを変換先のホワイトベースにコピーする際、同時にマスタースプレッド(マスターページ)もコピーされます。これはAdobe InDesign®の本来の機能ですが、マスタースプレッド登録の際に画像やイラストなどのオブジェクトを含んでいるとこのオブジェクトも変換先にコピーされ、本文ページの画像とオーバーラップしてしまいます。これを防ぐため、「ABId 1.3.4.8」からはマスタースプレッド(マスターページ)をコピーするのか、あるいはコピーしないのかを選択できるようにしました。

初期設定は「コピーする」ようになっていますが、もしマスタースプレッドをコピーしない方が都合が良い場合には、ブック変換を行う前に以下の操作を行ってください。

- 「ツール」ダイアログの「ブック変換」欄の「[ブック変換] マスタースプレッドをコピーする」のチェックを外してください。この設定により、ブック変換時にマスタースプレッドを変換先にコピーしないようになります。



解説 マスタースプレッドのコピーについて

マスタースプレッドとは？

Adobe InDesign®には、複数のページに共通するデザインやオブジェクトの配置をある一つのページに設定しておき、必要とする複数ドキュメントページに適用させて使う、という便利な機能があります。この設定用のページを「マスターページ」、もしくは「マスタースプレッド」と呼びます。

アドバイス！

- ページ 個々の紙面のことを「ページ」と呼びます。
- スプレッド スプレッド (Spread) とは「広げる」という意味の英語です。Adobe InDesign®では、本のように「見開き」として構成されるページや、年表などで用いられる複数のページで構成される「折込みページ」などを「スプレッド」と呼んでいます。



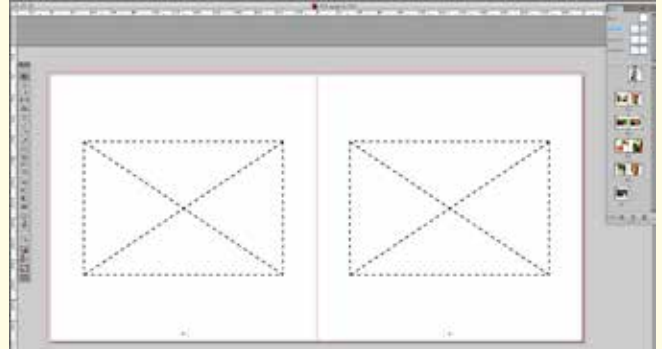
マスタースプレッドの使い方

1. 画像レイアウトの登録

繰り返し使用するレイアウトパターンをマスタースプレッドに登録しておく、ドキュメントページにすぐに適用できるので大変に便利です。ドキュメントページでは見開きの左右に異なるマスターを適用することもできます。

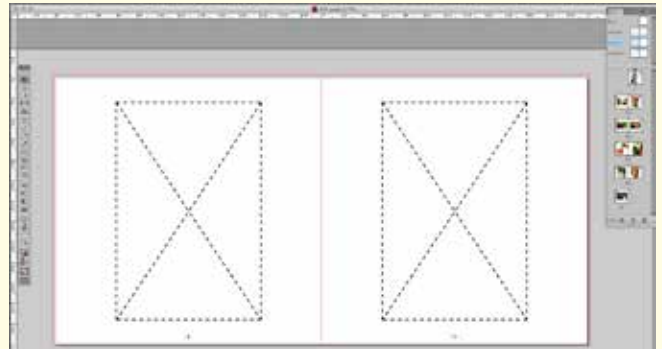
A マスター

見開きページの左右に横位置のフレームを配置したものを「Aマスター」として登録。



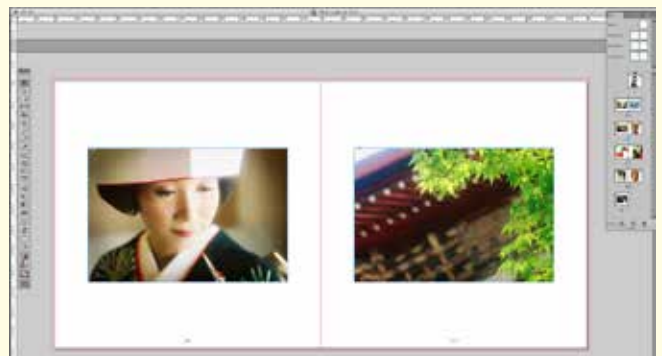
B マスター

見開きページの左右に縦位置のフレームを配置したものを「Bマスター」として登録。



2. ドキュメントページへの適用例

ドキュメントページに「Aマスター」を適用した例



ドキュメントページの左ページに「Aマスター」を、右ページに「Bマスター」を適用した例



10-6-2. マスター・スプレッドに画像を登録している場合の注意事項

マスター・スプレッドに登録したフレームに写真画像を入れておくと、ページパネルのレイアウトが分かりやすくなります。



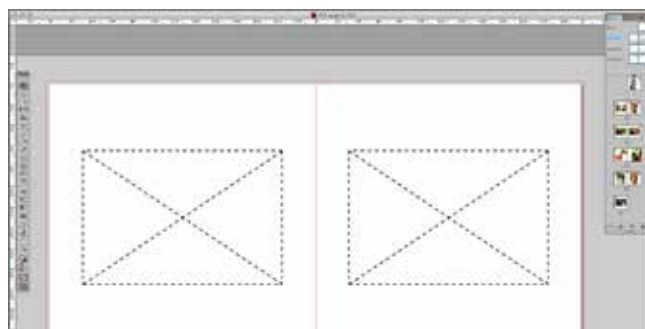
ただし、「ブック変換」機能を使用する際には以下の注意が必要です。

ドキュメントページにおいて、マスターページを適用したにも関わらず、これを無視してレイアウトを行った場合には、ABIdの「ブック変換」機能を使う前に「[ブック変換]マスター・スプレッドをコピーする」のチェックを外しておいてください。(右図参照)



チェックを外さずにブック変換を行った場合の不具合例

例えば、ブックサイズ「A3Q」の編集時に、見開きのマスター・スプレッドの左右のページに横位置のフレームをそれぞれにレイアウトしたとします。(右図参照)



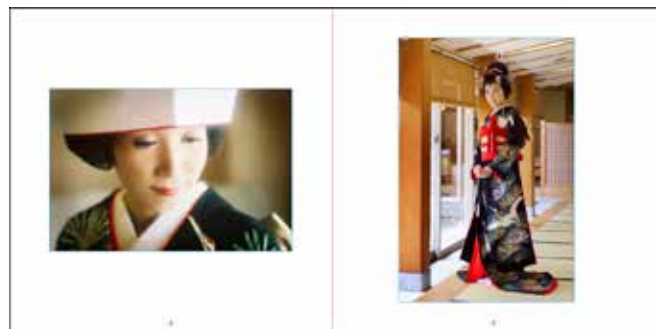
そしてこのフレームにダミーの画像を入れました。(右図参照)



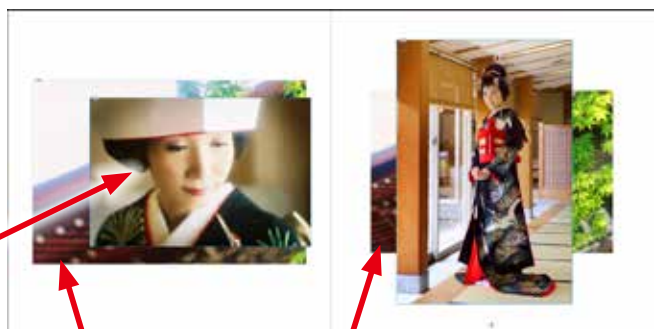
ドキュメントページにおいて上記で作成したマスターページを適用し、左ページに画像を配置しました。



ところが、右ページにはマスターページの適用を解除しない状態で縦位置の写真をレイアウトしました。(右図の右ページ部分)



この状態でブックサイズを「A4Q」に「ブック変換」を行うと、変換先のページでは、変換元のドキュメントページとマスターページの両方がコピーされるため、右図のようになってしまいます。



変換先のドキュメントページに変換元のドキュメントページとマスターページの両方が適用されてしまうため、サイズ変換が2回かかってしまう。

変換先のドキュメントページに変換元のドキュメントページとマスターページの両方が適用されてしまうため、画像が重なってしまう。

もし、このような状態になってしまった場合には、次のページの手順に従ってブック変換を始めからやり直してください。

10-6-3. ブック変換のやり直し手順

手順1 変換先のオブジェクトをすべて削除する

変換先のドキュメントページとマスターページにコピーされているオブジェクトをすべて削除してください。

ページ数が多いなどの理由でこの作業が面倒である場合は、変換先のファイルをすべて削除し、「新規ホワイトベース」の機能を使って変換先のホワイトベースを作り直しても結構です。



手順2 「[ブック変換] マスタースプレッドをコピーする」のチェックを外す

Adobe InDesign®のメニューから「ABId」をクリックし、プルダウンメニューの「ツール」をクリックしてください。



ツール・ダイアログの中の「[ブック変換] マスタースプレッドをコピーする」のチェックを外してください。



手順3 ブック変換をやり直す

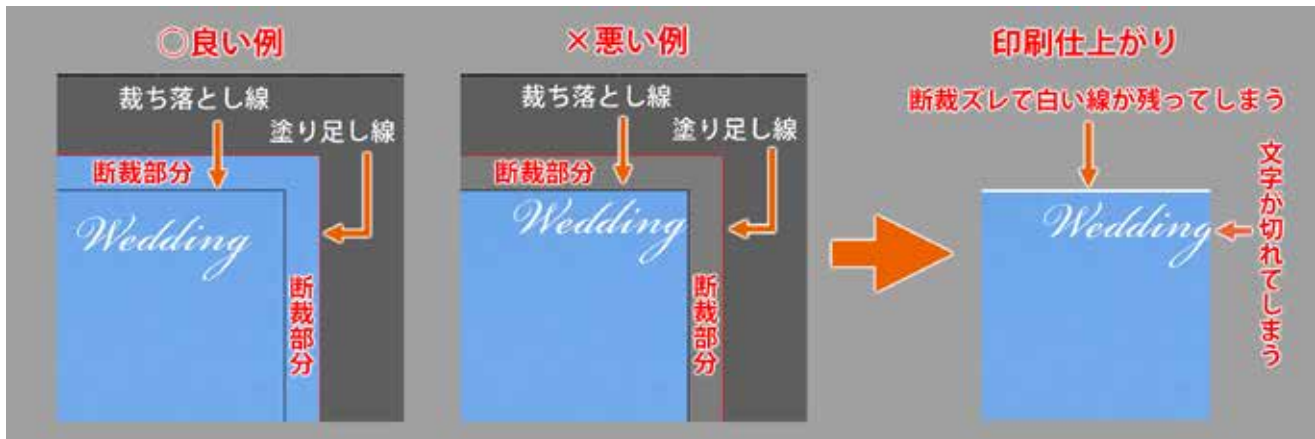
ブック変換をもう一度やり直してください。

今度は変換元のマスタースプレッドを変換先にコピーしないため、前回のようない不具合は起こりません。

11. 編集上のご注意

11-1. 塗り足しと裁ち落としについて

塗り足しとは、紙面の印刷可能領域よりも余分に写真や背景をデザインする部分をいいます。塗り足し部分は、裁ち落とし線を目安に断裁されますが、この線ぎりぎりにデザインしてしまうと断裁時のズレ等により、白い部分が残ってしまったり、文字が切れてしまう場合があります。デザインする際は、裁ち落とし線を越えて塗り足し線まで紙面いっぱいに画像を配置してください。



11-2. ブック変換時の塗り足し領域について

「ブック変換」機能によるブックサイズの変更は、変換元ファイルにおけるブックサイズとレイアウトの関係(画像の位置や比率など)を変換先においても損なわないように作られています。しかし、印刷や製本の関係上、どのブックサイズにおいてもホワイトベースには塗り足し領域を3mm(ブックや表紙・ケース等により異なります)確保しなければなりません。このため、変換元ファイルを縮小した後に、変換先のホワイトベースの大きさになるように塗り足し分も含めてキャンバスサイズを調整するため、背景に白色以外の色を付けている場合、変換先の塗り足し領域に白い部分ができることがあります。特に表紙はページ数により背幅が異なるため、変換誤差が大きくなる場合がありますのでご注意ください。これらのことにより写真やイラストの位置もずれる場合があります。

変換先のファイルは、ご発注の前にこの白い部分が塗り足し領域より内側(本文内部)に入っていないこと、写真やイラストがずれていないことを必ず確認してください。位置がずれている場合は修正し、塗り足し部に白い部分がある場合は、写真を広げたり、背景と同色で塗りつぶしてください。



変換元のブックサイズ 例は A3Q



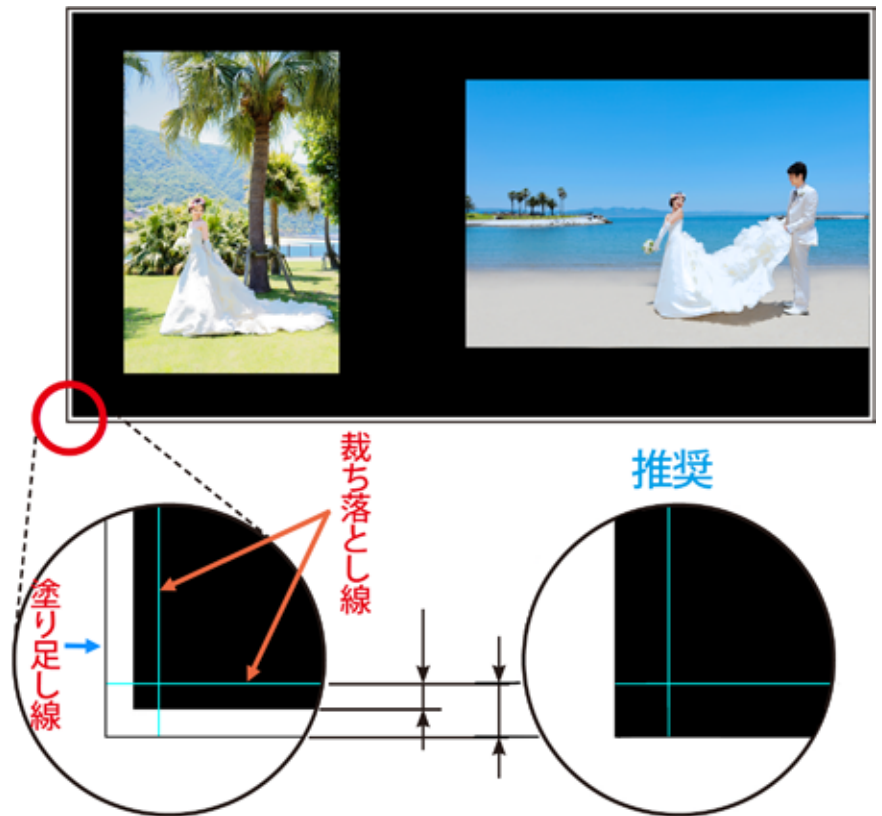
ご注意

塗り足し領域は、幅が通常3mm(ブックや表紙・ケース等により異なります)です。写真集の仕上がりは、裁ち落とし線で裁断された大きさになりますが、断裁時に誤算精度が±1mm程度発生してしまいます。

このため、写真をページ全体に敷く場合や、背景に色を付ける場合は、塗り足し領域に写真や色が**少なくとも1.5mm**以上入るようにレイアウトを行ってください。

※塗り足し線いっぱいまで写真を配置、もしくは、背景を同色で塗ることを推奨いたします。写真やイラストの位置なども必ず確認してください。

変換後のブックサイズ 例はCD



11-3. 表紙のサイズ縮小時の注意事項

本はその構造上、ブックサイズが異なっても紙の厚みは同じですので、ページ数が同じなら背表紙は同じ厚みになります。表紙用のホワイトベースは表紙、裏表紙、背表紙が一体となっていますので、「ブック変換」機能によりサイズの縮小を行い、変換先のホワイトベースにコピーされると、表紙のデザインの背表紙の幅寸法までが縮小されてしまいます(背幅が狭くなってしまいます)。

縮小変換後は、必ず変換先の表紙ファイルを開いてレイアウトを確認し、背表紙のレイアウトを修正してください。

修正の基本的な要点は、

- ① 表紙のレイアウトを右側に移動する。
- ② 裏表紙のレイアウトは左側へ移動する。
- ③ 塗り足し領域に縮小されたことによる白い部分が発生した場合には、写真を多少拡大するか、白い部分を黒などで塗りつぶす。



「A3Q」から「CD」にリサイズをした例

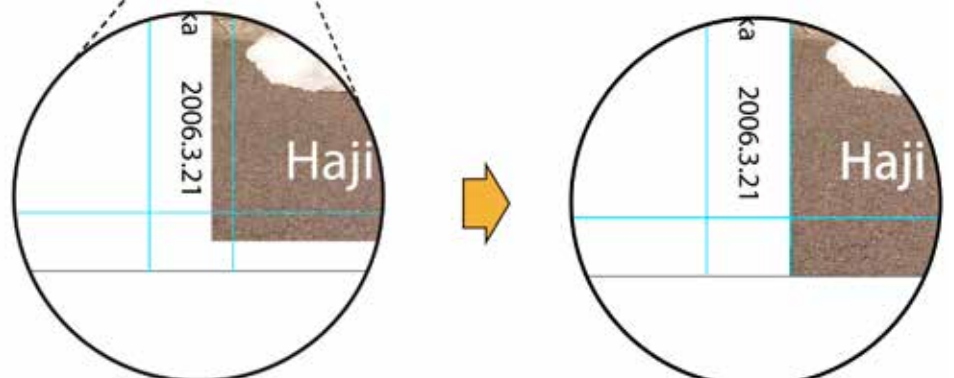


修正例

この例では、表紙の写真を右側へ移動し、塗り足し領域に生じた白い部分を黒色に塗っています。

縮小すると背表紙のレイアウトも一緒に縮小してしまうため、背表紙付近のレイアウトに狂いが生じます。

背表紙に引かれたガイドラインに従ってレイアウトを修正してください。



11-4. 最新情報はホームページで確認

写真集のデザインを綺麗に仕上げるために、ASUKABOOKの製本構造を配慮して頂く必要があります。
最新情報を弊社のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

ホーム／作り方／データ作成ガイド

<https://asukabook.jp/edit/technique.html>

12. お問い合わせ

サポートに関するお問い合わせは、フリーダイヤル、Eメールにて受付致しております。

下記よりお気軽にお問い合わせください。

■ ASUKABOOK® に関するお問い合わせ電話番号

0120-520-410 (フリーダイヤル)

電話の受付時間：10:00 - 18:00 月曜日～金曜日

(土・日曜日、祝祭日・夏季休暇・年末年始は除きます)

■ ASUKABOOK® に関するお問い合わせメールアドレス

info@asukabook.jp

メールの受付時間：随時、お受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。

また、弊社よりご連絡を差し上げるまでに、多少お時間を頂戴することがございます。

※ 当社はプライバシーポリシーに基づき、個人情報を管理しております。

上記よりお伝えいただいた情報は、お問い合わせの回答のみに利用し、他の利用は行いません。

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-3 M-SQUARE 5階

株式会社アスカネット フォトパブリッシング事業部

フリーダイヤル ◆ 0120-520-410

ホームページ ◆ <https://asukabook.jp> E-mail ◆ info@asukabook.jp

索引

索引

アルファベット

A

- ABId.jsx...4-3
- ABId 情報のアップデート...4-1
- ABId のインストール
 - アンインストール...3-6
 - インストール...3-2
 - ダウンロードしたファイルの解凍...3-1
- ABId の概要
 - ABId の基本的な作動について...1-1, 1-2
 - ABId の特長...1-1
 - 必要なアプリケーションと作動環境...1-1
- ABId の起動方法
 - ABId の起動について...4-2
 - ABId の終了について...4-2
 - インストール直後の ABId の起動について...4-1
- ABId のご利用にあたっての注意事項
 - カラーマネージメントとご利用になる画像について...2-1
 - その他...2-2
 - 小さな文字・細いライン についてのご注意...2-2
- ABId の作動がおかしい場合...10-4
- ABId の終了について...4-2
- AdobeRGB...2-1, 5-2
- ASUKABOOK 編集上のコツ
 - Adobe InDesign 専用ホワイトベースの解説...6-1
 - Adobe InDesign のファイルの扱い方...6-3
 - Adobe InDesign のファイルの特長...6-1

C

- CMYK 画像は利用しない...2-1

E

- EPS 形式の画像ファイルは使用しない...2-1

F

- File Checker について...1-2

I

- indb...6-1, 6-3
- indd...6-1, 6-3

R

- RGB モード...2-1

S

- sRGB...2-1, 5-2

Z

- Zip...3-1

かな
あ

- アンインストール...3-6

い

- 以前に作成したブックを元にして、他のブックを作る...9-4
- 色指定は「RGB モード」で...2-1
- インストール...3-2

お

- オブジェクトのリンクについて...2-3

か

- 書き出し...7-1
- 拡張子 indb...6-3
- 拡張子 indd...6-3
- カラープロファイル...5-2
- カラーマネージメント...2-1
- 管理者権限による起動方法...2-2

き

- キャンセル...8-1

く

- グレースケール画像は利用しない...2-1

け

- ケースファイル...6-1

す

- スクリプトパネルの表示...3-2, 4-2

そ

- 増刷...8-1

た

- 裁ち落とし...6-2

ち

- 注文までの流れ...8-1
- 注文用 JPEG ファイルの作成方法...7-1

つ

- ツール
 - ABId の作動がおかしい場合...10-4
 - 「ABId」の作動がおかしい場合...10-4
 - InDesign 起動時に「ABId」を起動させない...10-3
 - 新規ホワイトベースの解説を省略する...10-3
 - 初期状態に戻す...10-4, 10-6
 - ブック情報の確認...10-1
 - ログ...10-4, 10-6

と

- 問い合わせ...12-1
- ドキュメントの設定...2-3
- ドキュメントファイル...6-1
- ドキュメントファイルの閉じ方...6-4

ぬ

- 塗り足し領域...11-1

ひ

- 表紙の変換...9-8
- 表紙ファイル...6-1

ふ

- ファイルの扱い方...6-3
- ファイルの解凍...3-1
- ファイルの閉じ方...6-4
- ブック仕様の設定...5-1
- ブック情報の確認...10-1
- ブックファイル...6-1, 7-1
- ブックファイルの修復方法...6-4
- ブックファイルを開く...6-3
- ブックファイルを保存する...6-5
- ブック変換
 - 以前に作成したブックを元にして、他のブックを作る...9-4
 - ブック変換のルール...9-1
 - ページ数を増やす場合の作業手順...9-13
 - ページ数を変更する...9-11
 - ページ数を減らす場合の作業手順...9-14
- ブック変換ができない組み合わせ...9-3
- ブック変換時のオプション機能...10-6
 - マスター・スプレッドに画像を登録している場合の注意事項...10-8
 - マスタースプレッドをコピーする...10-6
- ブック変換のオプション機能
 - ブック変換のやり直し手順...10-10
- ブック変換の制限事項...9-2
- ブック変換のやり直し手順...10-10
- ブック変換の例外...9-3
- プロファイル...2-1

へ

- ページ数の増減...9-2, 9-3
- ページ数を増やす場合...9-13
- ページ数を減らす...9-14
- ページ数を変更...9-11
- 変換元のブックファイルセットの確認...9-1
- 変換先のホワイトベースの用意...9-1
- 編集上のご注意
 - QRコードと注文番号の印刷廃止について...11-1
 - 最新情報はホームページで確認...11-3
 - 塗り足し領域について...11-1
 - 表紙のサイズ縮小時の注意事項...11-2

ほ

- ホワイトベースの生成
 - 新規ホワイトベースの登録機能...5-5
 - ホワイトベースの作成手順...5-1
- ホワイトベースの登録...5-5
- ホワイトベースの読み込み...5-5
- 本文の変換...9-6
- 本文ファイル...6-1

ま

- マイページ...8-1
- マスタースプレッドとは?...10-6
- マスター・スプレッドに画像を登録している場合の注意事項...10-8
- マスタースプレッドの使い方例...10-7
- マスタースプレッドをコピーする...10-6

ろ

- ログ...10-4, 10-6

